

国分寺市教育委員会議事録 - 第 15 号

会議の種類 第7回国分寺市教育委員会臨時会
会議の日時 令和2年8月27日(木) 午前9時30分
会議の場所 国分寺市立 cocobunji プラザ リオンホール Bホール

会議の出席者

(教育委員会)

教育長職務代理者 富山 謙一
委員 佐久間 博美
委員 大木 桃代
委員 辻 亜希子

(説明員)

教育部長 一ノ瀬 理
学校指導課長 富永 大優
統括指導主事 大島 伸二
指導主事 野村 宏行
(特別の教科 道徳の採択中は、退室)

指導主事 渡辺 大輔

選定資料作成委員会委員長 伊藤 洋二

調査研究委員会(中学校)委員長(社会・地図)
金川 正樹

調査研究委員会(中学校)委員長(数学)兼
特別支援学級設置校長会長

岡本 祐治

調査研究委員会(中学校)委員長(理科)
荻原 隆行

調査研究委員会(中学校)委員長(音楽)兼
調査研究委員会(中学校)委員長(特別の教科 道徳)
野口 大介

調査研究委員会(中学校)委員長(美術)兼
調査研究委員会(中学校)委員長(外国語)

中村 英

調査研究委員会(中学校)委員長(保健体育)兼
調査研究委員会(中学校)委員長(技術・家庭)

田中 一郎

(事務局)

書記 佐々木 理絵子

書記 大嶽 みなみ

傍聴人 30人

〔開会と署名委員の指名〕

午前9時30分、教育長職務代理者は開会を宣言し、署名委員として2番大木委員、3番佐久間委員を指名した。

〔教育長職務代理者等の報告〕

富山教育長職務代理者 おはようございます。お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。古屋教育長が療養中のため、本日の司会進行は、職務代理者の富山が代わって務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

また、本日の臨時会は当初、8月11日の開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の状況から延期せざるを得ない状態でしたので、本日ここに体制を整えての開催となっております。皆様方には御迷惑をおかけいたしました。御理解と御協力のほどよろしくお願いいたします。

先日、新型コロナウイルス感染症から無事に完治された方のお話を伺う機会がございました。療養のための滞在先であるホテルでは、入室前にお医者さんからいただいた解熱剤をも使わないよう指示があったそうです。しかし、新しいお薬や注射は一切なく、ただ完治を待ってめでたく完治したというお話でした。結果としては、自分の免疫力がウイルスに打ち勝って完治したということだと私は受けとめました。ワクチンや治療薬がない現在の状況では、やはり免疫力は重要だとは話には聞いていましたが、実際その方を目の前にしますと、私たちが持っている免疫力は大変重要な意味を持っていると改めて認識した次第です。免疫力といいますと、十分な睡眠を取ること、バランスの良い食事をとること、そして人間関係を楽しく豊かなものにしていくことが昔から言われておりますが、その一つ一つを日常の生活で確立していくことは、非常に難しい面もあるのだろうと思った次第でございます。

既に、市立小中学校では2学期が始まっています。子どもたちはもちろんですが、マスクの着用、3密の回避、加えてこの免疫力を一人ひとりの子どもたちがつけていくことは、子どもたちだけではなく、私たち大人にとっても新しい生活習慣を確立するという意味において大変重要なことだと思っている次第でございます。

〔議事〕

1 議案第51号 令和3年度使用中学校教科用図書の採択について<教育長職務代理者提出>

(議案の内容と説明)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第21条第6号に基づき、教育委員会で決定する必要がある。

野村指導主事 市立学校における教科用図書の採択は、義務教育諸学校の教科用図書の無償に関する法律及び同無償措置に関する法律、同施行令、同施行規則に則し行います。

今回は、中学校の通常の学級で使用する教科用図書について、採択替えを行います。

次に、採択までの流れについて説明させていただきます。まず、5月15日から6月1日まで、各学校において学習指導要領の目標及び国分寺市が示す二つの調査観点である内容及び構成上の工夫をもとに調査を行いました。

次に、6月2日から7月9日までの間に各学校の調査報告書等を参考にしながら、教科ごとに教科用図書調査研究委員会を開催し、送付された見本本全てについて調査研究をし

ました。なお、本年度に関しては、新型コロナウイルス感染症対策として、電子メールや共有フォルダ等を活用した検討も併せて委員会を実施しました。そして7月18日に教科用図書選定資料作成委員会を開催し、全教科書について協議を行いました。委員会では、令和3年度使用教科用図書調査研究委員会報告書及び教科用図書見本本、市内教科書展示会で寄せられた市民アンケート結果等を資料として協議を行いました。

教科用図書選定資料作成委員会の協議における観点は、A内容、B構成上の工夫の2観点とし、総合検討結果を「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、「国分寺市で使用するのに適当である」、「国分寺市で使用するのに適当に至らない」の3段階で示しました。

次に、市民アンケート結果の概要を御報告いたします。この市民アンケートは教育センター及び本多公民館、恋ヶ窪公民館、もとまち公民館の三つの公民館において、6月19日から7月9日まで行った法定展示会及び市内展示会でいただいたものです。総数は79件で、各教科の内容や協議に関する意見等をいただきました。これらの市民アンケートについては、コピーして既に各委員にお渡ししてあります。

令和3年度使用中学校教科用図書の採択に関する審議をよろしく願いいたします。

富山教育長職務代理者 中学校教科用図書の採択にあたりましては、これまで各学校や調査研究委員会、さらに選定資料作成委員会において様々な研究や協議が行われてまいりました。本日は、まずその研究や協議の内容を御報告いただきます。

また、市民の皆様からも79件という多くのアンケートによる御意見をいただいております。これらの資料等を参考にされ、委員お一人おひとりの考えを踏まえて、教育委員会が責任を持って採択を行っていきたいと思います。委員の皆様、よろしく願いいたします。

それでは、4月23日開催の教育委員会定例会で承認いただいた要項に従い、審議いたします。選定資料作成委員会委員長から報告をいただきますが、本日は調査研究委員会委員長も来ていただいております。教育委員の皆様からは報告に引き続き、御意見や御質問を伺いますので、よろしく願いいたします。

(1) 国語 (国語)

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 国語については、2番の三省堂、4番の光村図書出版が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の東京書籍、3番の教育出版が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

東京書籍は良い点として、文学的な文章の新しい作品と、古典的な作品のバランスがとれていることがあります。一方、巻末の基礎編・資料編は充実していますが、分量が多く活用への不安も考えられます。

三省堂は文章の読み方や解釈の仕方などに関する学びや、情報活用の仕方など今求められる資質能力を育むための工夫が様々になされています。また、生徒が見通しを持って学習することにも配慮されています。

教育出版は、生徒が興味を持つ教材の工夫や学びを焦点化すること等について工夫されています。課題としては、教材の文章がやや難しいことや横書きと縦書きの混在による見づらさが挙げられていました。

光村図書出版は、生徒が親しみを持てる教材や推薦図書を豊富に紹介していること、学

習の手順が示されていることなどの良さがありました。目次が2段で見づらいという課題については、先日の教科用図書選定資料作成委員会では、補足的な内容が下段にあるというメリットでもあり、大きな課題ではないと判断いたしました。

(意見・質疑の要旨)

富山教育長職務代理人 ただいまの報告を受けまして、委員の皆様から御意見、御質問をお願いいたします。この御意見、御質問の後に推薦する発行者について伺いますので、今の段階ではその前段として報告を受けて、御意見、御質問を御自由に出していただきたいと思っております。

大木委員 主体的・対話的で深い学びということが今回の学習指導要領の柱の一つでございますが、その実現に向けての工夫は、それぞれの教科書ではいかがされておりましたでしょうか。

選定資料作成委員会委員長 こちらについては4社とも問題解決のプロセスを大切にしていって、それが生徒に自覚されるようにしております。例えば、光村図書出版では「学習の見通しをもとう」の項目で、何を何のために学ぶかを把握し、学習課題の項目で学習課程に則して主体的に学び、「振り返る」で自分の学びや成長を実感できるようにしております。これらについては4社とも大きな差はないということです。

富山教育長職務代理人 今回の教科書ではQRコードが掲載され始めまして、まさにICTを活用した学習指導の工夫改善が、教科書によって一歩前進したという感を受けました。それぞれの教科書におけるQRコードについての評価は、調査研究の段階ではどのような意見が出ていましたでしょうか。教えてください。

選定資料作成委員会委員長 国語に関しても、全ての出版者でQRコードがあり、インターネットで学習に関連する資料を見ることができます。これを活用することによって、教科書の内容以外の文章や資料に触れることができます。また、国分寺市が推進するICTの活用にもつながり、これからの社会に生きる力の育成も期待できるものと思われま

富山教育長職務代理人 中学生には国語が大好きな子も、ちょっと苦手な子もいるのですが、その苦手な子に何が苦手か質問をしますと、一つは「聞く」「話す」「読む」「書く」の次の言語事項の漢字を覚えるのが大変だということがあります。その次に多いのが、古典が苦手だということです。古典が苦手という子どもたちにも、伝統文化の粋である日本の古典を楽しく身近に学べるということが国語の教科書には求められていると思います。その点の議論はいかがだったでしょうか。

選定資料作成委員会委員長 読み物として古典的な作品と新しい作品がそれぞれの教科書に取り入れられております。そのバランスがとても大事だと思います。古典については、各社とも精選して取り入れていると思いますが、それをいわば読書嫌いの子どもにいかにか親しみを持って読ませていくかということは、教科書というよりもむしろ教員の力量にかかってくるのではないかと思いますので、どの教科書においても、それはあまり差がないのではないかと思います。

富山教育長職務代理人 それでは配布された資料やこれまでの質疑の内容をもとに、各委員がお考えになった良いと思われる発行者をおっしゃっていただければと思います。順番で大木委員からお願いいたします。

大木委員 いずれの教科書も多角的に考える教材も多く、生徒の視野を広げることができるように工夫されておりました。各教科書を拝見しているうちに、いずれの文章にも引

き込まれて読んでしまうような、良い課題文章が選択されていたと思います。選定資料作成委員会で非常に適当であるとされた2社の間で非常に迷いましたが、結論としては光村図書出版を推薦させていただきたいと思います。

理由といたしましては、先ほどの御説明もありましたように、私は今回、全体の方針の一つとして、学習の目的あるいはその時限で学ぶ内容が明確であり、かつ構成がはっきりしていることを重視しております。何を、なぜ、どのように学習するかということが明確でありますと、学習への見通しが立ち、抵抗感が少なくなり、学習意欲を高めることができると考えております。

そのような意味におきましても、先ほど伺いましたように、「学習の見通しをもとう」というページで、1年間の学習内容とどのような力を身につけるかということが明確であるということ。2点目に「思考の地図」で様々な思考方法が紹介されており、考え方の基礎をイメージしやすいということ。3点目に、「読む」という教材の後の学習では、見通しを持つ、捉える、より深める、考えを持つ、振り返るという一連の流れと、それぞれの内容が示されており、何をどのように学習していけば良いかがわかりやすいということ。4点目に、話す、聞くという教材では、目標の後に生かす、集める、整理する、組み立てる、表現する、振り返る、つなぐ、あるいは聞き方や書き方など、何をどうするのか、具体例も含めてわかりやすく書いており、生徒が学習する上で参考になるということ。5点目は情報整理のレッスンや思考のレッスンで論理的思考を高めるような工夫がなされていて役に立つこと。そして最後に、学習を広げる資料が充実していること。これらの理由から光村図書出版を推薦させていただきます。

佐久間委員 私は結論から申し上げますと、光村図書出版の教科書を推薦いたします。選定資料作成委員会委員長より報告がありましたとおり、優れた点の多い教科書であると私も感じます。

まず、教科書を手にとりますと、目になじむ教科書であるという印象を持ちました。表紙の手触りや紙の質、教科書本体に使用されている用紙も含めて、やわらかく、よくしなるため扱いやすいと感じました。それから、紙の色が少しクリーム色で、文字もとても読みやすいので目が疲れにくいと感じます。多くの文章を読み、繰り返し学習する国語の教科書には大変良い特徴であると思いました。

内容につきまして、先ほど御報告いただきましたことに加えて、優れていると思います点を申し上げますと、大木委員からもありましたとおり、見通しを持って学習することは非常に大切であると私も思っております。教材本文の後に示されている学習の手順に沿って、見通しを持ち、捉え、読み深め、考えを持つという一連の活動に取り組むことで、教材を深く読み取り、話し合い、考えをまとめることができるような仕組みになっていると思います。

また、巻頭の詩や要所に載せてあります季節の写真、季節のしおりなど、四季のある日本ならではの美しさに触れるページを盛り込んでいることで、日本情緒を育み、日本語の細やかな表現、豊かな表現力を身につけることが期待できます。国語は全ての教科の基礎となる教科です。光村図書出版の教科書は、読む力、話す・聞く力、書く力をしっかりと身につけることに適した教科書であると思いますので、推薦させていただきます。

辻委員 私は、三省堂「現代の国語」を推薦させていただきます。理由といたしましては、まず文学教材について、近代の作家の作品が適切に配置されている点が良いと思いました。また、読書の広場というコーナーで紹介されている作品も、ぜひ生徒に読んでほし

と思うものが多いと感じました。そのほかの教材も定番、古典と言えるような良い作品が多いと思いましたので、この点を優れていると感じました。

また、国語科では書く力を伸ばすことも非常に大事だと思います。書く力は一生の財産になると思いますので、ぜひ思考や友達との学びが柔軟にできる中学生のうちに、学校教育の場で十分な時間を割いていただきたいと思っております。他社に比べて三省堂の教科書は書く教材についての単元が一番充実していると感じましたので、この点からも三省堂を推薦したいと思いました。

また、各教材については内容も具体的で、例を挙げると語彙を豊かにという欄を設けて表現の文例を挙げる、2年生の創作文では四つの構成をとって生徒が様々な分野から選択できるようにしている、3年生の意見文では推敲作業を具体的に示すなど、生徒の力に直結するような内容となっていると感じました。

そのほか、文法のまとめも使いやすそうであると感じましたし、巻頭の領域別の教材一覧もわかりやすい構成となっていて、生徒が見通しを持って学ぶことができると感じました。以上から三省堂を推薦いたします。

富山教育長職務代理者 非常に適当であるという三省堂と光村図書出版、両方とも非常に良い教科書だと思います。先ほど質問しましたが、QRコードが掲載されていて、例えば「徒然草」を、昔、私は文字だけで読んでどのように読むのか今でも自信を持って読めませんが、QRコードを読み取りますとしっかりと肉声で専門家が読んでくれます。このような教科書は本当に良いと思います。また、このような教科書が家庭にあると、おじいちゃん、おばあちゃん、お孫さんまで含めて、日本の伝統文化の国語というものが、教室から家庭に入って行って、そこでまた楽しめると思います。そういう教科書が両社の中にあって、どちらにしようか随分迷いました。先ほど古典の学習が難しいという話がありましたが、光村図書出版の古典の学習の展開のさせ方を見ますと、最初に、いろは歌の毛筆が出てきて、肉声の音声もあり、非常に現代の生活、日常と結びつけて、古典を子どもたちに親しませる手法が非常に綿密に、戦略的に工夫されているというのがありましたので、紙一重ですが、私は光村図書出版を推薦いたします。

それでは、光村図書出版が3人、三省堂が1人ですので、国語につきましては光村図書出版に決定したいと思いますが、辻委員、よろしいでしょうか。

辻委員 結構です。

富山教育長職務代理者 それでは、国語につきましては、4番の光村図書出版「国語」を採択することに決定いたしました。

(2) 国語(書写)

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 書写については、4番の光村図書出版が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の東京書籍、2番の三省堂、3番の教育出版が「国分寺市で使用するのに適当である」といたしました。

まず、東京書籍は、良さとしてお礼状や新聞の書き方など、学習を日常につなげる資料の多さや手本の横のポイントが挙げられました。課題として、文字の小ささや教科書が大きく生徒の机上が狭くなることが考えられます。

三省堂は生徒に考えさせる内容があることや、B5サイズであることの作業のしやすさ、左利きの生徒への配慮が良さとしてあります。課題としては、硬筆の練習ページが少ない

ことなどが挙げられていました。

教育出版は、良さとしてわかりやすい図や書字文化や日本文化に触れる内容の充実があります。課題として、教科書の大きさや硬筆の練習ページの少なさが挙げられていました。

光村図書出版は、学びを日常につなげることや、生徒の興味を引く工夫がされています。B5サイズで実寸大の手本があることや、硬筆練習帳が附属していること、教師用指導書附属のDVDを活用して、教科書と同じ書体で生徒の名前の手本を作成すること等の良さも挙げられていました。

(意見・質疑の要旨)

辻委員 国語の教科書と書写の教科書は、同じ出版社のほうが使いやすいということはあるのでしょうか。

選定資料作成委員会委員長 特に同じでなくても支障はないと判断しています。

大木委員 幾つかの出版者で硬筆の練習のページが少ないことが課題として挙げられておりますが、この硬筆と毛筆の学びの割合や、硬筆の練習のページが少ないことが課題となった点について、もう少し御説明をいただけますでしょうか。

選定資料作成委員会委員長 書写においては、硬筆、毛筆の両方がとても大事な学びになりますが、基本的にその時数の振り分けは最終的には教師によることになります。しかし、その教科書にどれだけの分量があるかということは、やはり教師にとっても大きな要素だと思しますので、その多さ、少なさは違いとして大事であると思っています。

富山教育長職務代理者 書写に限らないとは思いますが、書写の中に実寸大のお手本があります。実寸大というのは非常に効果的だと私は思いますが、実寸大のお手本が書写の中にあるということについての議論は、どのような様子だったのでしょうか。

選定資料作成委員会委員長 正直申しまして、そのことについては詳しい話題にはなってはおりませんでした。しかし、生徒にとっては実寸大のものがあれば、自分が書くときに参考になるだろうという感じはいたします。

富山教育長職務代理者 先ほどの国語と似た質問になりますが、教科書にQRコードがついておまして、それが子どもの学びにどのように機能し、役立つのかという部分についてお伺いします。非常に効果的だと思いましたが、書写におけるQRコードの活用については調査研究委員会での議論はどのような様子だったのでしょうか。

選定資料作成委員会委員長 こちらについても具体的な検討はしておりませんが、先ほど委員がおっしゃったように、書写に限らず、教科書を持って、学校だけではなく家庭での学びにも活用することによってつながっていくのではないかと思います。

佐久間委員 書写の教科書につきましては、各社で文字にまつわる古典や伝統文化、現代のデザインに生かされている文字など、様々な資料をそろえて大変興味深く拝見いたしました。選ぶに当たりましては、教科書の扱いやすさ、お手本や各ページの見やすさ、資料など総合的に見まして、私は光村図書出版の教科書を推薦いたしたいと思います。

まず、教科書の扱いやすさという点について、国語の教科書と似たような感覚を持ちました紙質の特徴と細身の教科書のつくりで、机上に開いて置いたときに、左右どちらにも盛り上がりにくい作りになっています。幅をとり過ぎることもなく、そのような点でお手本としても練習帳としても大変扱いやすいと私は感じました。

お手本や練習のページを見ますとシンプルで和的な雰囲気を感じさせ、書くことに集中しやすい紙面になっていると思います。また、季節のしおり、1から3というものがあり

ますが、こちらは季節を感じる言葉や、短歌、和歌、古文などを書く素敵なページだと思います。書き初めの言葉も中学生らしい言葉が選ばれていて、大変好ましいと感じました。

資料の92ページに全国文字マップという写真がありますが、全国の名所旧跡、工芸上の使われているいろいろな文字を見ることができ、大変興味深い資料であると思います。このように、さらに先ほど御報告にもありましたように、日常に文字を生かすことができる、興味を引く資料を充実させていることを実感いたしております。

現代は、パソコンやスマートフォンの普及により、気軽に素早く意思疎通ができるようになりました。そのような中、手書きの価値も改めて見直されております。光村図書出版の教科書で文字を書く楽しみを味わってもらいたいと思っております。

辻委員 私は、三省堂「現代の書写」を推薦いたします。まず、「書き方を学ぼう」というところでは、その単元の目当てだけではなく、その前、その次の単元の目当ても、薄い色で一緒に示されておりますので、全体の中で今どこを学習しているのかがわかりやすく良いと思えました。

また、中学校で初めて出てくる毛筆の行書の指導ポイントがわかりやすいという点も良いと思います。さらに、教科書の冒頭に1年生の字と3年生の字を書き残すページがありますが、これによって主体的な学びへの動機づけになることが期待できますし、結果的に3年間の成長を見ることができるといっても好ましいと思います。また、左利きの生徒が書きやすいという点も重視したいと思えました。

最後に硬筆のページが少なめということですが、行書から硬筆へ練習をつなげることができるように配置されていますので、学習の一貫性が感じられ、この点はクリアできるのではないかと考えました。

大木委員 私は、光村図書出版を推薦したいと思えます。その理由といたしまして、筆圧と線の太さを、1、2、3という数字で示してございまして、そのほうが図よりもわかりやすいのではないかと考えました。また、先ほどの国語と同じですが、その目的あるいは時限で学ぶ内容の明確さという点におきまして、毎回の最初の目標での授業の目的を明確にできるという点。最後に学習を振り返るといふチェックがあり、より具体的に学びを振り返ることができるという点。また、考えよう、確かめよう、生かそうという順に記載されてございまして、実際に文字を学び、書く上で理解しやすいということ。さらに、日常に役立つ書式も充実していることから、書写の授業で学んだことを、日常生活で活用できるということを実感できると思えます。

学校で学んだことが、単にその場での知識あるいは書写であれば文字をきれいに書くというテクニックだけで終わるのではなく、日々の生活に役立てることができることを実感できますと、より学習意欲を高めることができると考えております。したがって、私は光村図書出版を推薦いたします。

富山教育長職務代理者 私は光村図書出版の「中学書写」を推薦いたします。理由といたしましては、各社のQRコードを見てみましたが、例えば平仮名の「は」を書くときの平結びのところで、最後の穂先がどのように下から上にいくのかということ、言葉で説明するのはなかなか難しいと思えますし、朱書きしているところでは穂先の静止画もあり、何とか理解できます。ところが、動画になりますと筆をおろしていった、下になっているのが上にすっと行くのがよく見えるのです。この平仮名を学んでいくときの毛筆の平結びの基準になるところが一目瞭然にわかるということは、革命的な学習材になるのだろうというところが一つございまして。

また、先ほども質問しましたが、お手本が小さくても止め、はね、はらいはわかりますが、やはり実寸大はリアルなものが子どもの中に入ってくると思います。そのような面で実寸大のお手本がついている、書写ブックがある、中学生のための漢字辞典、常用漢字一覧表など、様々なものが工夫をされていて、子どもの興味関心に応じて学びを支援するという教科書の本来の目的があると思いました。

さらに、見開きページの中で、課題を見つけて、学んで、振り返るといった学びの循環が非常にわかりやすく示されているのも良いと思ったところです。

それでは、光村図書出版が3人、三省堂が1人ということでございますので、書写は光村図書出版を採択したいと考えますが、辻委員、よろしいでしょうか。

辻委員 結構です。

富山教育長職務代理者 それでは、書写は4番の光村図書出版「中学書写」を採択することに決定いたしました。

(3) 社会（地理的分野）

（選定資料作成委員会委員長からの説明）

選定資料作成委員会委員長 1番の東京書籍、3番の帝国書院が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、2番の教育出版、4番の日本文教出版が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

東京書籍は、良さとして情報を活用する技能について効果的に身につく工夫があること、資料が充実していること、編・章のまとめ方が多様であること等が挙げられていました。課題として、図の色使いについて見づらさがあるという意見もありました。

教育出版は、社会的な問題を多面的・多角的に捉え考察させる工夫や知識、技能の習得に関する配慮が全般としてあります。一方、地図やグラフの色合いや写真の大きさではわかりづらさがあるといった課題はありました。

帝国書院は、単元の導入の工夫や統計資料を読み解く力につながる紙面が良さとして挙げられていました。また、社会科の3分野や地図帳、小学校の学習との関連など学びを広げられる構成となっています。

日本文教出版は、良さとして資料やQRコードを用いたコンテンツの充実があります。写真の活用も効果的ですが、資料を読み取るための工夫が不十分な箇所もあるといった課題も報告されました。

（意見・質疑の要旨）

大木委員 2点お伺いいたします。東京書籍の課題として主題図の項目の色が混在し、図を読み取りにくいことがあるというのは、どのような点を特に指していらっしゃるのでしょうか。2点目に、帝国書院においてSDGsと関連した資料が充実しているとのことですが、ほかの教科書はいかがであったかという点についてお教えてください。

調査研究委員長（社会・地図） まず、図の見づらさについてですが、どの教科書の資料を見ましても、良くまとめてありますし、内容は授業に十分なものではございます。しかし、若干コントラストや重要部分の色使い、文字の大きさについて使いやすいと判断されたもの、もう少し工夫があっても良いのではないかという意見が出たものがありました。

SDGsに関しましても、もちろんこれから大事なことです。どの教科書も十分に触れてございます。その中でも生徒に入りやすい目立った配置である、内容が充実していると

いう程度の差異がございました。

辻委員 私は、帝国書院の教科書を推薦いたします。全般的に記述が正確なことはもちろんですが、それだけでなく掘り下げ方に深まりがあり詳しいという点が良いと思いました。写真、図表ともに世界の各地、日本の各地方の理解の助けとなるものが多く用いられていると思いました。

また、領土問題について主張の異なる他国の主張を紹介している点も評価できると思います。一つの考え方だけでなく、いろいろな情報を与えた上で生徒に考えさせる機会を与えることが主体的な学びにもつながると思いました。

大木委員 私は、帝国書院を推薦したいと思います。理由といたしまして、最初の地理的な見方、考え方について、あるいは地理的分野の学習の全体像を見通そうという箇所が非常にわかりやすく、地理学習の位置づけを理解して学習することができるという点です。

2点目といたしまして、SDGsの意識と関連した資料や課題が特に充実しているという点を評価いたしました。

3点目に、各節あるいは章末に、節あるいは章の学習を振り返ろうということで、学んだことを確かめようという知識という点と、地理的な見方、考え方を働かせて説明しようという思考力、判断力、表現力というところで、しっかりとポイントを押さえていて、非常に幅広く学習を深めることができると考えました。特に各節で、このテーマであった場合には、ステップの1で特色と課題を整理しよう、2で節への問いへの考えを説明しよう、最後に持続可能な社会に向けて考えようというように、学習を進める上でのステップが明確であり、各ステップで行う作業も明示されていて、生徒が深く学習しやすいと考えました。また、技能をみがくというコーナーでは、統計資料や地図の読み取り、使い方などさらに深い技能を学ぶことができるということがございまして、総合的に判断して帝国書院を推薦したいと思います。

佐久間委員 私も帝国書院の教科書を推薦します。まず、教科書の構成について見てみますと、大変興味を持って地域学習に入っていられるつくりになっていると思いました。

4点ほど良いと思う点を申し上げます。最初に、先ほど御報告の中にもありました、そして辻委員もおっしゃっておいりました、世界や日本の諸地域学習の冒頭のところにある非常に美しい写真、写真で眺める何々州、日本の場合は何々地方というページです。見開きの写真と地形図、それぞれのところからそれぞれの地域の自然や人々の暮らし、文化などの特徴が一目でわかり、とても興味を引き、これから学習することに対して、楽しく入っていけるのではないかという導入ページになっていると思いました。

2点目は、日本の諸地域の部分について、写真で眺めるページ、その前にその地方の特徴を記したイラスト地図が1ページを使って大きく配置されており、それを見ることでその地域のイメージが湧き、さらに興味深く学習に臨めると思います。

3点目は、先ほど大木委員もおっしゃっておいりましたが、章や節などの初めに、学習課題を見通すものとして、第何節の問いというものがあまして、その章、節の最後に学習の振り返りで問いに答えるページというものがあまして、私もそちらは学習の定着を図ることができるようになる非常に良い構成だと思っております。

4点目は、日本の諸地域ごとに地域のあり方を考えるというページで、地域社会をより良くするために取り組まれている各地の事例が紹介されており、地理学習と現代社会のつながりを意識することができると思います。

続いて、内容について特に良いと思う点を3点ほど申し上げます。地図や写真が大変美

しく印象的で、説明文の理解を深めるよう効果的に配置されていると思います。技能をみがくコーナーでは、ハザードマップの読み取り方や防災情報の入手の仕方など、実際の生活において重要な情報を得る方法を学ぶことができますと思います。

説明文につきましても、地域の特徴や課題などが大変具体的でわかりやすく書かれており、その対応や取組などについても紹介されているところが良いと思いました。

教科書の巻頭ページのところに、地域のより良い発展を目指してと題し、持続可能な社会の実現に取り組む世界の人々の様子が紹介されています。地域の様々な課題を解決しようとする取組を学ぶことで、地理の学習がより良い社会を築くことにつながるということを、子どもたちが意識できる教科書であると思いました。

富山教育長職務代理者 私も帝国書院が良いと思い推薦をいたします。特にSDGsの取り上げが、すっきりとしていて非常に見やすく、わかりやすく提示されているということです。本当に持続可能な社会の実現に向けた内容が、非常にわかりやすく充実していると思います。

また、ほかの教科書にはなかったのですが、韓国について見開きの2ページで扱っており、地理的な見方、考え方に加えて国際理解教育の視点、異文化理解を取り入れているということも他社にはないところではないかと思いました。

さらに、QRコードの内容が非常に充実していて、子どもの学びの支援を縦横に助けるという点も良いと思いました。

それでは、帝国書院が4人でございますので、社会（地理的分野）は3番の帝国書院「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」を採択することに決定いたしました。

（４）社会（歴史的分野）

（選定資料作成委員会委員長からの説明）

選定資料作成委員会委員長 1番の東京書籍が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、2番の教育出版、3番の帝国書院、4番の山川出版社、5番の日本文教出版が「国分寺市で使用するのに適当である」、6番の育鵬社、7番の学び舎が「国分寺市で使用するのに適当に至らない」としました。

東京書籍は、因果関係を重視した文章表現、課題解決的な学習のしやすさ、主体的・対話的で深い学びや思考力、判断力、表現力等の育成に関する工夫が多くありました。巻頭・巻末の資料も効果的です。

教育出版は、写真資料の充実や学習の流れの見やすさ、単元のまとめの工夫が良さとして挙げられました。一方、各単元の発展学習が近世から人物中心になるなど、偏りが見られるという課題もありました。

帝国書院は、地理的分野と同様に社会科の3分野や地図帳、小学校の学習との関連など学びを広げられる構成となっています。学習課題の明示や学びの振り返りも適切です。課題としては、教材は適切であるものの、一部、一面的な捉え方にとどまっている内容が見られました。

山川出版社は、歴史的事象を様々な視点から記しており、多面的多角的に考えることに役立つ内容になっています。資料の内容が高度であることや、ユニバーサルデザインフォントが使われていないことが課題として挙げられていました。

日本文教出版は、生徒が見方、考え方を働かせるための工夫や、文化に関する学習の資料の充実が良さとしてあります。課題としては、単元の構成について一部例外があること

が挙げられていました。

育鵬社は、写真資料の工夫がなされ、我が国の伝統と文化を尊重し、歴史に対する愛情を育てるための教材が充実しています。一方、世界史的な記述が不足しているなど、多面的・多角的な考察については、不十分であると捉えました。

学び舎は、図や写真が豊富である等の良さがあります。課題としては、政治や経済、文化の因果関係がわかりづらいことや、教科書が大きいことや重いことなどが挙げられていました。

(意見・質疑の要旨)

大木委員 私は、子どもたちが幅広い視点から物事を捉え、考える力を身につけてほしいと思っております。したがって、できるだけ多方面、多角的な視点から学べることを選定の中心の方針といたしました。また、市民の皆様からの御意見なども全て拝見し、十分に参考にさせていただいた上で、慎重に選定をさせていただきました。その結果といたしまして、私は東京書籍を推薦したいと思います。

理由といたしましては、1点目に各単元が見開きでまとまっていて、学習の区切りがよくわかりやすいという点です。

2点目に各左ページの下に年表で位置を示し、右ページの下でチェックあるいはトライがございますので、生徒もポイントを理解しやすいという点です。

3点目に各章末のまとめが充実しており、基礎・基本のまとめで重要単語を確認し、説明をするなどして知識を深めることができるということです。

4点目に、探求のステップでは各節の課題を解決し、文章で表現するようになっており、その後に章の最初に提示された探求課題に答える形式になっていることで、学習課題活動が構造化されていて非常にわかりやすいという点です。

5点目といたしまして、まとめの活動のみんなでチャレンジの箇所、クラゲ・チャート、Xチャート、ピラミッド・ストラクチャー、ウェビング、ステップ・チャート、ランキングなど多様なグループディスカッションにおける参考方法が紹介されており、生徒が楽しくグループ活動を行うことができるだろうと思われた点です。自らの内面、知識や人間性などを高めることができると同時に、それを高めるための方法、ヒントなどが適切に示されております。

また、年表が工夫されている点も良いと思いました。年表は章の最初のもので、小学校までに学んだもの、あるいは既にその年代で学んだものに加えて、今回新たに学んだものを各章の最後に青字で追加している点も工夫されておりますし、その時代の流れを、政治、経済、社会、文化、東アジア、欧米という形で俯瞰的に見ることができる点です。

最後に、私が個人的に非常に良いと思いましたが、3ページの目次の箇所で、先生あるいは保護者に災害の写真を使用することについて配慮してほしいと書かれておりました。このアスタリスクのあるページでは、火山の噴火、地震や津波、土砂崩れなどによって起こった災害の写真を扱っており、御指導の際には御配慮をお願いいたしますというように、様々な災害などで心に傷を負った可能性のある生徒に対して、指導の際には配慮してほしいということが書かれており、そのような細やかな配慮をされるという視点は私は素晴らしいと思いました。

以上などのことから総合的に判断いたしまして、東京書籍を推薦したいと思います。

佐久間委員 歴史の教科書につきましては、各社大変魅力的な資料が掲載されていて、

大変興味を引く内容がそろっておりました。説明の文章を比較しますと、完結にまとめたもの、言葉が平易でわかりやすいもの、歴史の背景が詳細に描かれているものと、教科書によってそれぞれ特徴があり、判断に迷うところでした。

紙面の構成、説明文、資料を比較しまして、さらに市民アンケートも参考にさせていただきまして、総合的に考えて私は東京書籍の教科書を推薦いたします。

先ほど御報告いただきましたとおり、文章表現が丁寧で具体的であり、因果関係を重視していること、内容がまとまっていて理解しやすく、発達段階に適した内容であることなど、様々優れた特徴について私も同様の感想を持っております。さらに自分なりに良いと思う点を4点ほど加えさせていただきます。

1点目は、各章の導入の活動のページについて、時代を象徴するイラストや写真で学習する時代をイメージし、同じ紙面上の探求課題で注目するポイントをつかむことができる点が良いと思いました。

2点目は、大木委員も年表のことをおっしゃっていましたが、私もこの教科書の年表も優れていると思います。3種類の年表が適切な位置に配置され、充実しているので、中学生が興味を持って歴史を学ぶ助けになると思います。一つ目は各章の導入の活動のページで、政治、経済、社会、文化、東アジア、欧米など比較ができる3段書きのイラスト入りのもので、時代を大きくつかむことができる年表があります。二つ目は、各ページの見開きの左下に配置されているもので、まさに今学習している時代がわかる年表です。三つ目としましては、各章の基礎・基本のまとめのページにある導入のページと同様の形式の年表に、学習してきた内容、詳細を加えた年表です。この三つの年表があることにより、いつ、何があったかという歴史感覚を育むことができると期待されます。

3点目は、資料の配置が整然としていて大変見やすく、系図や仕組みを書いた図も大変わかりやすいと感じます。

4点目は、説明文の区切りの見出しが、内容をつかみやすく整理された文言で書かれているので、何について書かれているのか、見出しの部分で理解することができます。

以上申しました理由で東京書籍の歴史の教科書を推薦いたします。

辻委員 私も推薦する教科書は東京書籍の教科書です。理由としましては、これまでの委員の御意見と重なる点も多いのですが、市民アンケートなども拝見いたしますと、歴史的事実への記述について、偏りが無いという点は非常に大事だと思いますが、この点で東京書籍の記述が評価できるものであると考えました。

歴史においては、因果関係を重視した学びもとても大事だと思います。選定資料作成委員会の報告書にも文章表現が丁寧で具体的で、因果関係を重視しているという御指摘がありますが、これは読んでみてそのとおりだと私も思いました。深く掘り下げるきっかけとなって良いと思います。

また、単元のまとまりが重視されている、チェックやトライの項目で自分で振り返りができる、課題を持つことができるということは、学習への取組、掘り下げ、まとめという流れが最もよくできるのではないかと思います。

選定資料作成委員会の報告書には、写真や図表についての御指摘はありませんが、他社と比べましても全く遜色はなく、むしろ先ほどから御指摘があるとおりの年表など優れていると思いますし、写真やその他の統計資料なども質、量ともに生徒の理解の助けとなるよう適切に示されていると思いました。

富山教育長職務代理者 私も東京書籍が良いと思い推薦をいたします。歴史を単に覚え

るといよりも、考えて判断してより深く学ぶことによく配慮された教科書だと思います。また、チェックやトライなどに見られるように、主体的で対話的で深い学びを子ども一人ひとりにどのように対応させていくかということに、十分配慮された教科書だと思います。

それでは、東京書籍が4人でございますので、社会（歴史的分野）は1番の東京書籍「新しい社会 歴史」を採択することに決定いたしました。

（５）社会（公民的分野）

（選定資料作成委員会委員長からの説明）

選定資料作成委員会委員長 1番の東京書籍、3番の帝国書院、5番の日本文教出版が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、2番の教育出版が「国分寺市で使用するのに適当である」、4番の自由社、6番の育鵬社が「国分寺市で使用するのに適当に至らない」としました。

東京書籍は現状をわかりやすくまとめた構成、課題解決に適した内容、見開き1ページで1単位時間の授業を実施できる等の良さがありました。片仮名单語がわかりづらいという課題もありましたが、教科用図書選定資料作成委員会ではそのような言葉に触れ、理解することが今求められているとの意見もありました。

教育出版は、教材の内容の適切さや、単元を通して問いを解決することの良さが挙げられました。課題として分量が生徒の負担になる可能性が挙げられていました。

帝国書院は、地理的分野、歴史的分野と同様、学びを広げる工夫がされています。また、生徒の実生活につなげることで、学びの実感を持たせられるようにしています。重要事項をわかりやすく示す工夫も効果的です。

自由社は、国家や日本国憲法についての内容が充実しています。一方、両論併記が必要な箇所もあるなど、多角的な視点は不足していると捉えました。分量が多く生徒への負担を心配する意見もありました。

日本文教出版は、現代的な課題に関する教材が豊富なことや、挿絵や写真のわかりやすさが良さとしてあります。また、社会参画を促す工夫もあり、社会での生活につながる内容となっています。

育鵬社は、伝統文化や天皇、憲法についての内容が充実しています。一方、生徒に疑問を持たせたり、多面的に考えたりする内容が少ないことが課題として挙げられていました。

（意見・質疑の要旨）

佐久間委員 教科書の構成、内容、そして市民アンケートから総合的に判断いたしまして、東京書籍を推薦いたします。

構成については、歴史の教科書と同様ですが、各章の導入と章のまとめが関連しており、学習の継続に効果的なつくりになっていると考えます。内容につきましては、先ほど委員長より御報告いただきましたとおり、わかりやすさという点で、説明文章が客観的にまとめられており、説明文の区切り方、見出しの文言、説明の順序についても適切かつ整理されて書かれているので、大変理解しやすいと思います。

また、選定委員会の報告書にもありましたが、教材や資料が正確であり、挿絵や写真が単元に応じて効果的に配置されていてわかりやすいという特徴につきまして、私も同様の感想を持ちました。

資料についても、全体として本文の理解を深める解説や知識を広げる情報が整然と配置

されていて、大変見やすいと感じます。その中で資料の新しさ、中でも今の時代を感じさせると私が感じた印象的なページがあります。それは第2章、個人の尊重と日本国憲法、第1節、人権と日本国憲法の③国民主権と私たちの責任という、44、45ページの見開きの資料です。44ページには天皇の退位という資料の中で、上皇様が天皇を退位された経緯の説明があり、45ページには今上天皇が国事行為に臨まれる写真と、植樹祭に参加される天皇皇后両陛下の写真があり、その同じ見開きの紙面の上のほうに高校生の投票の様子を撮影した大きな写真があります。このように日本国憲法のもとでの象徴としての天皇、そして国民の役割を新しい感覚で表現することで、こちらは一例であり、ほかにも資料が大変充実しておりますが、子どもたちとしても、社会の出来事を身近に感じ、主体的に社会に参加していくことの大切さを意識できる効果が得られるのではないかと思います。

もう1点、公民の教科書で気になる点としては、領土問題の記述があります。184、185ページに見開きで「領土をめぐる問題の現状」「問題の解決に向けて」という見出しで、それぞれの問題の経緯と現状が説明され、それに対し日本が平和的解決に向けて外交的な提案や交渉を続けていることが丁寧に書かれていました。その点につきましても良いと思いました。

最後に、218ページの終章、より良い社会を目指しての3、探求を続けるという見出しの中で、現代社会の課題解決のために解決策を探求し続けること、社会の課題を自分事として捉えることの大切さについて記し、社会参画を呼びかけて結びとしています。これからの社会を担う子どもたちに、ぜひ身につけてほしい感覚だと思います。以上のような理由で東京書籍の教科書を推薦したいと思います。

辻委員 私は帝国書院の教科書を推薦いたします。1点目として、選定委員会の調査報告にもありますとおり、導入に実社会に興味・関心を持つような題材が取り上げられており、そこから問いへと自然につながって行って、生徒がよく掘り下げることができるのではないかと考えました。記述の内容についても、正確かつわかりやすく、理解がしやすい文章になっていると思います。

2点目としまして、日本国憲法の成立の経緯とその内容について、大日本帝国憲法との違いを用いながら説明しているところが、的確かつ偏りなく述べられていて良いと思いました。

3点目に、ぜひ公民では重視したいポイントである人権については、一つひとつの人権について冗長でなく大切なポイントがよく押さえられており、生徒に考える良い材料を示せていると思います。

最後に、どの教科でもそうですが、コラムのようなところは意外と生徒が興味を持って見て、後々まで心に残るものだと思いますが、その題材が他社と比較して生徒の関心を高めそうなものが多く取り入れられていると思いました。

大木委員 私は東京書籍を推薦いたします。理由といたしましては、先ほどの歴史とほぼ同様です。選定の方針等も一緒です。まず、各単元がまとまっていて学習の区切りがよくわかりやすいという点。みんなでチャレンジというコーナーでは、より具体的な場面を提示するものも多く、例えば122ページでは、S市の市長になって条例をつくらう、あるいは176ページに、コンビニエンスストアのお弁当を企画しようなど、生徒の興味を引く内容で構成されているという点。3点目に、各章の最初の導入の活動も、自分たちで考えられるような内容であり、生徒の意欲が湧くであろうと考えました。生徒が興味・関心を高めるような内容が多く含まれていて、工夫されているという点を評価いたしました。

先ほどの歴史と同じように、右ページの下にチェックやトライがあり、生徒がポイントを理解しやすい点。また、章末のまとめの学習では、ある状況についてグループディスカッションを有効に活用できるように工夫されている点。そして、歴史と同様に、目次で災害の写真の使用についての配慮をしてほしいと述べられている点などです。

また、やはり公民という内容の特性上、例えば自衛隊、憲法など様々な意見のある内容につきまして、客観的で両論併記されていることを評価いたしました。あることが行われた、あるいはこのように言われている。これに対して、このような反対の意見もあるというように、多様な経過や意見を紹介している点を評価いたしました。

富山教育長職務代理者 私は日本文教出版を推薦いたします。非常に内容構成が良いからです。表紙をめくりますと最初に目に飛び込むのは、見開き2ページにわたり、持続可能な社会を形成するという現在の学習指導要領の目指す根幹の一つですが、SDGsの解説を丁寧にしてあります。それだけではなく、それを受けて人権の観点から考える、あるいは社会参画との関わりなど、本文でそれを具体的に学べるように構成してあります。そして、教科書巻末の公民学習の最後のまとめと第5編につなげていくという内容構成は、見事だと思うからです。

また、今回の学習指導要領はただ覚えるのではなくて、思考力、判断力に結びつく見方、考え方の視点に立った内容が非常にわかりやすく構成されています。見開き2ページになっておりますが、主体的・対話的で深い学びの実現をするというところから、学習課題をしっかりと示して、その下に見方、考え方の五つの視点が示されています。常にこのパターンで教科書が編成されているのは、大変素晴らしい構成だと思いました。

その中で、丁寧な学びを助けるアクティビティがありまして、さらに見方、考え方を体験的に、経験的にものを結びつけながら、自分のものとして身につけていくこと、これは公民学習の神髄ですが、それが丁寧に展開できるように、学べるようにしてある場面も大変良いと思います。しかも全体を通して、様々な内容と関連させて、子どもが自ら考える、判断する、様々な知識を結びつけて総合的に考えて自分のものとして定着化するという配慮がなされているのも、素晴らしい教科書としての構成だと思い、推薦をいたします。

それでは、東京書籍が2人、帝国書院が1人、日本文教出版が1人ということでございますので、社会（公民的分野）は東京書籍を採択したいと考えますが、辻委員、よろしいでしょうか。

辻委員 結構です。

富山教育長職務代理者 それでは、社会（公民的分野）は1番の東京書籍の「新しい社会 公民」を採択することに決定いたしました。

（6）社会（地図）

（選定資料作成委員会委員長からの説明）

選定資料作成委員会委員長 2番の帝国書院が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の東京書籍が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

東京書籍は、内容のわかりやすさ、教科書と同じサイズであり、コンパクトである良さが挙げられていました。課題としては落ち着いた色合いは見やすい反面、重要なポイントがわかりづらいという意見もありました。

帝国書院は、内容のわかりやすさ、大判であることの見やすさ、調べやすさ等の良さがあります。

(意見・質疑の要旨)

辻委員 私は帝国書院を推薦いたします。理由といたしましては、掲載されている地図の縮尺はページによって同じであることが多いのですが、判が大きい分、掲載範囲が広くなっている点が利点であると思います。文字や記号についても、もう1社と比較してこちらのほうが見やすいと感じました。さらに、地図は資料としての役割が大きいので、統計資料も詳しいほうがよろしいかと思いましたが、こちらも2社を比較したときに帝国書院のほうが詳しいと感じましたので、こちらを推薦いたします。

大木委員 私も帝国書院を推薦いたします。理由といたしましては、色合いにおきまして様々な色分けが明確でわかりやすいということ。そして、地図で見たとき、あるいは地図だけでなく、資料としての学習課題や地図活用などのコーナーで、適切な問いかけがなされており、学びを深めることができるということ。様々な資料の情報量も適切で見やすいということ。SDGsを意識した構成になっていること。以上の点から帝国書院を推薦いたします。

佐久間委員 私も帝国書院の地図を推薦いたします。地図を見ますと、一般図、鳥瞰図ともに立体感があり、地形を捉えやすいと感じます。地図上に描かれた文字や記号も大変見やすく、わかりやすいと思います。

資料につきましても、大変豊富で興味深いものが載っております。私が興味深いと思ったものを2点御紹介させていただきます。1点目は、123ページの東京周辺の地形、水と人の関わり、防災のページには、水をめぐる東京の歴史という資料があります。その中で江戸時代に玉川上水が引かれ、武蔵野大地の新田開発が行われた記載がありまして、国分寺市にとって関わりの深い歴史の地形を地図上で確認することができます。

もう1点は、107ページの本州中央部と五街道というページで、江戸時代との比較ができて大変興味深い資料が盛り込まれています。②の江戸時代の主な出来事という年表は、江戸幕府を開いたところから鳥羽伏見の戦いまでの主な出来事を、五街道を配した地図の上で確認することができます。年表の隣には江戸時代の五街道、由比宿を描いた浮世絵と現在の由比の写真が並べて配置されていて大変興味深いと思います。また、③の東京（江戸）から大阪間の所要時間の表では、江戸時代に徒歩で14日間かかっていたところから始まり、明治時代に東海道本線で結ばれて19時間、大正、昭和、平成の特急、新幹線開通を経て、令和27年開通予定のリニア新幹線では1時間7分となるまでの変遷を見ることができます。④の世界遺産富士山という資料に北東から見た衛星画像がありますが、江戸の昔も現在も日本が誇る富士山を立体的な感覚で見ることができます。

それから、巻末の資料集も大変充実していると思います。日本の歴史遺産のページのようには、歴史上、都や幕府、戦があったところを史跡とともに1枚の地図上に示して、戊辰戦争の舞台となった五稜郭の写真を載せるなど、歴史との関連でも大変興味深い資料もあります。

歴史関連の資料の話で長くなってしまいましたが、帝国書院の地図帳は幅広く興味を引く資料とともに、地形の立体感を楽しみながら学べる地図帳だと思います。

富山教育長職務代理者 私も帝国書院を推薦いたします。非常にすっきりとして見やすい、非常に優れた地図だと思います。それから、社会科で大事なものは、覚えた知識と知識を結びつけて、より良く問題を解決していくことを子どもに学んでほしいのですが、メルカトル図法の中に正距方位図法の線があらわれていたり、ヨーロッパのページを開くと、ベルリンの壁、ポツダム宣言やサラエボ事件などが地図に示されていて、歴史、地理的な

部分も地図の中に含まれています。非常によく配慮されて優れた地図だと思います。

それでは、帝国書院が4人でございますので、社会（地図）は2番の帝国書院「中学校社会科地図」を採択することに決定いたしました。

（休憩 午前11時3分～午前11時9分）

（7）数学

（選定資料作成委員会委員長からの説明）

選定資料作成委員会委員長 1番の東京書籍、2番の大日本図書、6番の数研出版が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、3番の学校図書、4番の教育出版、5番の新興出版社啓林館、7番の日本文教出版が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

東京書籍は、小学校算数からの接続や生徒の日常と関連させる工夫等の良さがありました。二次方程式の解法の順もわかりやすくなっています。一方、平面図形の導入や用語の説明などについて扱いづらいとの意見もありました。

大日本図書は、生徒の知的好奇心を刺激する内容が多くあることや、見開き2ページで1単位時間の授業ができること等の良さがあります。一方でページ構成や色使いの見づらさが課題として挙げられました。

学校図書は、良さとして身近な題材や練習問題の充実、巻末のホワイトボード添付などがあります。課題としては他教科との関連がわかりづらいことや、見やすさに難があることが挙げられました。

教育出版は、問題解決のプロセスがわかりやすいという良さがあります。課題として計算問題の少なさやページを読んだり探したりすることにやや手間がかかることが挙げられました。

新興出版社啓林館は、様々な所にQRコードが配置されていることや二次方程式の解法の順がわかりやすい等の良さがあります。課題としては、日常生活との関連の少なさや、ページによっては公式がわかりづらいこともあるなどが挙げられました。

数研出版は、問かけ文の親しみやすさや、分冊の探求ノートなどの良さがあります。課題としては見づらさに関しての意見がありました。教科用図書選定委員会では、分冊であることはそれほどの良さにはつながらないという意見もありました。

日本文教出版は、数学的な見方、考え方の働き方が明示されていることや、見開き2ページで1単位時間の授業ができること等の良さがあります。課題としては、問題文がやや長いことが挙げられました。教科用図書選定資料作成委員会では、フォントが見づらいという意見もありました。

（意見・質疑の要旨）

辻委員 東京書籍についての調査報告内容の中で、平面図形の導入や用語の説明が扱いづらいという点が挙げられていますが、これはどの程度の難点なのか、実際に授業を担当なさる先生の工夫で克服できる程度のものなのか、教えていただければと思います。

調査研究委員長（数学） 東京書籍については、用語の導入の工夫として、用語が出てくる必然性を考えての工夫がされています。その点でまとめて用語を指導したほうが良いのではないかという意見も出たので、ここで報告させていただきましたが、その点につい

ては指導方法で特に問題なく授業を行えるということで、調査研究委員会では考えています。

大木委員 私は東京書籍を推薦いたします。理由といたしましては、1点目に1年生で算数から数学への導入の単元が設定されており、数学の学び方の説明もわかりやすく記述されている点です。

2点目に、例題のすぐ下の問いの色分けの工夫や、学習課題、考えようなどのレイアウトが見やすいという第一印象を受けた点です。数学に苦手意識を持つ生徒も増える時期でありますので、見やすいという印象は非常に重要であると思われました。

3点目に、各章の導入が身近なテーマで記述されていて、生徒の興味を引きやすいという点です。その他の箇所でも、学びを広げようなど日常生活での応用を意識できる構成になっております。特に数学におきましては、勉強、授業だけという意識を持つてしまう生徒が増えてくる中、このように学校で学んだことを日々の生活に役立てることができる、あるいは役立っているということを実感できることが、より学習意欲を高めることにつながると思えます。

4点目といたしまして、基礎から発展、応用の演習問題も充実していて、深い学びが意識されているという点。最後に既習事項の確認がしやすい点。以上のことから総合的に判断いたしまして、東京書籍を推薦いたします。

佐久間委員 私も東京書籍の教科書を推薦したいと思います。先ほど御報告いただきました内容や大木委員がおっしゃったことと良い点につきましては重なりますが、新しい学習に入る時点での何々してみよう、何々について考えてみようという呼びかけや、中学生に身近なテーマで意欲を引き出される仕掛けは大事だと思います。

また、ヒントとなる考え方や法則や定義など、重要なポイントを色で囲むなど紙面が整理されているので、見やすく振り返りがしやすいと思います。そして、日常生活の課題解決に数学を使って取り組むことで、思考力、表現力を高めていく部分も充実していると思います。

全体を通して大変学びやすい教科書であると思えますので、東京書籍を推薦いたします。

辻委員 私も東京書籍を推薦いたします。これまでの御発言と重ならない点を申し上げますと、まず、数学は新出事項を理解する手順が大事だと思いますので、実際に授業を担当される先生方が、生徒の理解に適していると考え構成上の工夫は、とても重視すべきと思われました。この点から、3年生の二次方程式について考え方がわかりやすいという手順を示されている2社の中から選ぶべきだと考えまして、このうち東京書籍のほうが総合的に見て優れていると思われました。

なお、東京書籍につきましては、先ほど質問させていただきました用語の説明が扱いづらいという点が懸念点としてありましたが、用語が出てくる必要性を重視しているという御説明をいただきまして、むしろそれはメリットとして生かしていただければ良いのではないかと思います。数学は記憶科目ではありませんが、言葉を覚えれば理解したということではありませんので、数学でもその用語が何のために出てくるのかという、より良い学びにつなげることができる教科書なのではないかと思います。

また、単元名に数学の言葉を身につけよう、関数を利用して問題を解決しようなどのサブタイトルがついていますが、これによって学ぶことがどのように役立つのか、どのような世界の話なのかということがわかりますので、目的意識を持った学習や学習の道しるべになるのではないかと思います。特に数学が苦手な生徒は、今、自分が何を勉強している

のか、体系的に理解することがだんだん難しくなると思いますので、このようなサブタイトルはとても手助けになると思います。

富山教育長職務代理者 私も東京書籍を推薦いたします。OECDの行った調査を見ますと、日本の子どもは学力はあるが日常生活に生かしていけないということが、非常に指摘されています。この教科書では各章の初めの導入のときに、数学と日常生活を結びつけて、日常生活から立ち上げて数的な見方を考えるとしていくところに非常に努力なさっております。そのような点で良いと思うからです。

それでは、東京書籍が4人でございますので、数学につきましては1番の東京書籍「新しい数学」を採択することに決定いたしました。

(8) 理科

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 2番の大日本図書、5番の新興出版社啓林館が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の東京書籍、3番の学校図書、4番の教育出版が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

東京書籍は、単元始まりの見開きの扉ページが印象的である、教科書を大きくして見やすくすると同時に軽量化を図るなどの良さがあります。一方で、大きな教科書は見やすい反面、持ち運びに不便なこと、QRコードの読み込みに手間がかかるなどの課題がありました。

大日本図書は、生徒に理解しやすい内容や読解力に関する問題の充実、身近な題材の導入等の良さがありました。実験や観察の手順がわかりやすいことなど紙面の工夫もされていますが、イラストの不安に関する意見もありました。

学校図書は、資質・能力の三つの柱を示すことで、学びの見通しを持たせる等の工夫があります。一方、記述量のバランスや読みやすさ等について課題があるという意見が複数挙がっていました。

教育出版は、学びの前後の違いに着目させる、日常生活と結びつけるなど自分ごととして捉えさせる工夫がされています。課題としては、色使いや文章の配置、QRコードの読み込み等のわかりづらさが意見として挙げられていました。

新興出版社啓林館は、良さとして専門性の高さや生徒の生活や将来につなげていることなどがあります。ワイドな紙面であり見やすいという良さもあります。課題として、教材の配列について、授業のしづらさに関する意見がありました。

(意見・質疑の要旨)

大木委員 2点お伺いします。1点目は、大日本図書に、デジタル教科書ではNHK映像ライブラリが活用できるとございます。他のデジタル教材と比べて、これは特筆するものなのでしょうか。

2点目は、新興出版社啓林館に、配列が2分野2単元後に1分野2単元の順になっており偏っているとございます。こちらは、先生方が実際に授業をなさる際に順番を入れ替えるなどの工夫がしづらいのでしょうか。

調査研究委員長(理科) 1点目につきましては、大日本図書のデジタル教科書を購入いたしますと、教科書の中ですぐにそのページに行くことができるため授業ですぐに見せることができるという特質がありました。ほかの会社についてはそれが確認できておりま

せんでしたので、これは特に容易だなということがありました。

2点目の教材の順番については、教員が順番を替えて授業を行うことは、もちろんだの教科書でも可能ですが、そのままの順序で行うという原則もありますので、そのまま授業を行うとすれば、同じ分野を続けることにはやりづらさを感じます。

佐久間委員 私は、大日本図書の教科書を推薦いたします。大日本図書の理科の教科書の優れている点について、数多く御紹介いただいているとおり、子どもたちが興味を持って理科の学習に取り組める教科書であると思います。

第一印象としましては、御紹介の中にもありますが、写真が大変美しく、説明文の内容をイメージさせる場所に効果的に配置されていることで、理科の学習と実際の自然界の生活が深く結びつくであろう、子どもたちの意欲を向上させることにつながるだろうと感じました。

また、学習内容に関わる科学の話題や他教科と関わりの深い読み物など資料も充実しています。特に国分寺市の子どもたちに読んでもらいたいものとしては、1年生の71ページ、万葉集から見る植物のページです。武蔵国分寺公園からほど近い国分寺に万葉植物園があります。奈良天平と国分寺の歴史については社会科で学んでいるところですが、理科の分野からも、いにしへの国分寺を実感してもらえたら嬉しいと思います。また、まさに国分寺市ゆかりの土地が紹介されているものとして、1年生の258ページ、自然の恵みの中で、湧水を紹介する写真に都立殿ヶ谷戸庭園の写真が掲載されております。子どもたちの理科に対する興味が一段と引き出され、力をつけてくれるのではないかと期待しまして、大日本図書の教科書を推薦いたします。

辻委員 私も大日本図書を推薦いたします。今回の学習指導要領において主体的・対話的な学びが必要ということもありまして、教科書の冒頭で、他社の多くは何のための理科学習なのかや学習のプロセスなどについて多くの紙面を割いています。これは大切なことであることは重々承知しておりますが、前置きがやや長過ぎて、学ぶ生徒がうまく入っていけるのかと少し心配な気持ちになりました。この点、大日本図書を見ますと、主な学習場所となる理科室の使い方と学習の進め方を明解に示していて、すぐに単元学習に入れているので、1年生に限らずですが、各学年最初の導入としてスムーズに始められるのではないかと思います。

また、調査報告と重複しますが、学習の流れや各単元の学習の流れについて、既習の内容の振り返り、これからの学習の内容を知らせるといったことがある点も良いと思います。

さらに、他社のものの中に仮説が強調されているものも多いのですが、仮説検証型の学習が全てではないと思いますので、この点からも大日本図書は多くのものを予想でとどめている、必要に応じて予想と仮説を使い分けているという点も、科学的な態度として良いのではないかと考えました。

大木委員 私も大日本図書を推薦いたします。理由といたしましては、既に何ったところもありますように、単元の最初の既習とこれから学習することとのつながりがわかりやすい点です。また、単元末のまとめもわかりやすいのですが、単元末の問題が知識を問う問題と読解力の問題がございまして、幅広く学力を身につけることができる点です。実験や観察の説明もわかりやすいのですが、理科におきましては、この大日本図書がやはり災害の写真についての配慮を明記しております。各学年ございますので、そのような細やかな配慮をされている点が良いと思います。あとは、既に出ているお話と重複いたしますので省略いたします。以上を含めまして大日本図書を推薦いたします。

富山教育長職務代理者 私は、大日本図書の「理科の世界」を推薦いたします。説明は省きますが、理由としましては、考えたり、判断したり、確かめながら学びを自分のものにしていくというストーリーの流し方が大変きめ細かいというところが一つ挙げられます。また、日本の子どもは学びが教科書の中だけにとどまってしまう傾向があるということがOECDの行った調査で指摘されているのですが、理科を生活に生かす、理科の中に生活があるという面で、生活の中の理科というところに着目しているところは良い構成だと思えます。さらに、子どもたちに理科を勉強する楽しさ、面白さが感じられるように熟慮されて配置されていると思うからでございます。

それでは、大日本図書が4人でございますので、理科は2番の大日本図書「理科の世界」を採択することに決定いたしました。

(9) 音楽（一般）

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 2番の教育芸術社が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の教育出版が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

教育出版は、主体的・対話的で深い学びがなされやすい工夫をしていることや、様々な音楽の共通性と固有性を考えさせる工夫がされている良さがあります。課題としては、楽譜の小ささ、説明文の多さ等が挙げられていました。

教育芸術社は、難易度に無理がなく、生徒の発達段階に応じた指導がしやすいことや、生徒に身につけさせたい資質・能力が明示されていること等の良さがありました。音楽と社会とのつながりを意識した資料も充実しています。

(意見・質疑の要旨)

辻委員 教育芸術社の教科書を推薦いたします。御指摘がありました難易度に無理がないということは、音楽を嫌いにならないでもらう、音楽が楽しいと思ってもらおうという目的から考えると、最も大事なことではないかと考えました。教科書の構成を見ましても、巻頭に学習内容が一覧性を持った形で示されており、見通しが持ちやすいと思います。また、この教科書の特色である音楽と社会とのつながりなどの紹介も良いと思いました。巻末にある楽典では、音楽の約束として基本がわかりやすく整理されていることも感じました。全体的にレイアウトがすっきりとしていて、見やすいということも高評価だと思います。

大木委員 私も教育芸術社を推薦いたします。理由といたしましては、辻委員がおっしゃったことのほかですと、導入が丁寧であるという点、深めよう音楽で自主的に理解を深めることができる点、ワークシートなどで主体的に学びを深めることができる点などが挙げられます。総合的に判断いたしまして、教育芸術社を推薦いたします。

佐久間委員 私も教育芸術社の教科書を推薦いたします。表紙を開きますと、巻頭に音楽界で活躍されている方々から子どもたちに向けてのメッセージや写真があり、とても印象深く興味を引くものとなっています。それぞれのページの写真も生き生きと美しくイメージしやすいと思います。音楽って何だろうというページは、音楽の本質に迫る問いかけ、語りかけにより、音楽を自分のものとして捉えることができるのではないかと思います。

もう1点私が注目したのは、3冊に分かれているそれぞれの教科書で、日本の伝

統芸能とアジアや世界の民族音楽等を連続して学ぶことができる構成になっているところ
です。日本とアジアや世界の伝統芸術を写真で見比べ、音楽を聞き比べることができる
ということは、子どもたちの感性を豊かに育む貴重な体験になると思います。音楽は人と
ともに、自然とともに、時とともに流れていきます。音楽を楽しむことは人生を、自然を、
時の流れを楽しむことにつながっていきます。子どもたちには、音楽を楽しみ、人とつな
がり、心豊かに日々を過ごしてもらいたいと思います。その点を重視してつくられている
教科書であると感じますので、教育芸術社の教科書を推薦いたします。

富山教育長職務代理者 私も同じように教育芸術社「中学生の音楽」を推薦いたします。

それでは、教育芸術社が4人でございますので、音楽（一般）は2番の教育芸術社「中
学生音楽」を採択することに決定いたしました。

(10) 音楽（器楽合奏）

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 2番の教育芸術社が「国分寺市で使用するのに非常に適当
である」、1番の教育出版が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

教育出版は、バランスのとれた内容や、学びの狙いの明示などの良さがあります。課題
として、楽譜の見づらさ等が挙げられていました。

教育芸術社は、曲目の多彩さや奏法のわかりやすさ等の良さがあります。楽譜や文章等
も読みやすく構成されています。

(意見・質疑の要旨)

大木委員 私は、教育芸術社を推薦いたします。理由といたしましては音楽（一般）と
ほぼ同様でございますが、中学生に親しみのある教材が多いこと、各楽器の奏法がわかり
やすく示されているという御報告を受けまして、自らの表現において音楽により親しみを
持って積極的に表現していくことができると考えました。

また、最初のところで、思考力、判断力、表現力、知識、技能をそれぞれ、表現の器楽
と創作に分けて学習内容が明確に記されている点、取り上げる曲との対応もはっきりして
いて、学習の目的が明確である点も優れていると思います。先ほどと同様、深めよう音楽
で自主的に理解を深めることができる点、また、資料も充実していると思われま

す。また、小学校の教科書採択のときにも教育芸術社のリコーダーの運指表がとても見やす
かった印象がございますが、中学校におきましてもリコーダーの説明がとてもわかりやす
い、あるいはギターのコード表も見やすいという印象を受けました。

佐久間委員 私も教育芸術社の教科書を推薦いたします。音楽（一般）の教科書と同様、
表紙をめくると音楽家の方による心に響く語りかけが印象的です。ピアノで語るというこ
とが言葉の通じない外国の方々ともピアノ演奏を通じてつながることができるという、楽
器演奏の魅力が伝わってきます。音楽って何だろうというページの写真と語りかけで、人
と楽器との関係、だんだんなじんで大切なものになっていく、自分にもできるのではない
かと期待が高まっていくと思います。

御報告にもありましたとおり、奏法についてとてもわかりやすいという点で、私もその
ように思います。美しい写真も効果的で、手元や奏法の参考になっていると感じます。

和楽器についても充実していて、指使いや、特に琴の奏法の説明が大変詳しく記載され
ています。また、69ページの日本音楽の器楽編成の一覧表はとても参考になるので、貴重

な資料だと思います。和楽器の演奏は難しい面もありますが、日本の伝統の楽器ですので、ぜひ挑戦して、できれば子どもたちも合奏の楽しさを経験してもらえると良いと思います。意欲を持って楽器に取り組むことのできる教科書だと思いますので、教育芸術社の教科書を推薦いたします。

辻委員 私も教育芸術社の「中学生の器楽」を推薦いたします。理由といたしましてはこれまでの御発言と重複するところが多くありますが、付け加えるとしますと、知っている曲を楽器で演奏できたという喜びは意欲につながるといいますので、アンサンブル曲が中学生にとって親しみのある教材であるということ。楽譜が見やすいこと、奏法の指導がわかりやすくできていること、これらのことは特に重視すべきと思いました。

富山教育長職務代理者 私も同じように教育芸術社の「中学生の器楽」を推薦いたします。理由としましては、導入のページを開いたところに圧倒されました。おそらく、子どももそうではないかと思えます。やはり教科書は子どもの心を動かしていくことが大事だと思っております。

また、子ども一人ひとりにそれぞれ好き嫌いがあり、上達も違いますが、ページの中でそれぞれ応じたきめ細かな対応が可能であるということも熟慮された教科書であると思えます。そういう意味では、楽器の奏法なども丁寧に示されている、特に打楽器はそのような実感を受けました。

それでは、教育芸術社が4人でございますので、音楽（器楽合奏）は2番の教育芸術社「中学生の器楽」を採択することに決定いたしました。

(11) 美術

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 1番の開隆堂出版、2番の光村図書出版が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、3番の日本教出版が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

開隆堂出版は、目標の明示や各分野のバランス、他教科との関連について良い点があります。図版の解説も充実しています。

光村図書出版は、生徒の視点に立った制作工程の説明や紙面のわかりやすさ、他教科との関連について良い点があります。資料が豊富なことや教科書に書き込めることなどの工夫もあります。

日本教出版は、目標の明示や鑑賞の題材となる作品の制作工程を示すこと、身近な題材等の良さがあります。一方、3分冊であることの扱いづらさについても課題として意見がありました。

(意見・質疑の要旨)

佐久間委員 私は光村図書出版の「美術」を推薦いたします。こちらの教科書は、美しいものに感動する心を大切に、創作意欲を育む教科書であると感じます。

まず、鑑賞作品について感想を申し上げますと、大きく迫力ある写真で作品を味わうことができます。特に、日本の伝統的な作品、世界の名作の扱いが大変素晴らしく、中でも原寸大のものは臨場感があります。解説も丁寧で、作品が生まれた背景や鑑賞ポイントを知ること、生徒が作品に興味を持ちやすくなると思います。

表現の学習について、生徒作品も発想の豊かさを感じるものも多く、解説があることで

身近に感じられますので、制作するに当たってアイデアの参考になると思います。日本の伝統的な作品とともに、伝統の色や伝統模様、工芸や文化遺産なども幅広く魅力的に紹介されています。海外の作品や文化とのバランスも良いと感じました。子どもたちの美術的視野を広げ、つくり手としての主体性を育む優れた教科書であると感じましたので、光村図書出版の教科書を推薦いたします。

辻委員 私も光村図書出版の「美術」を推薦いたします。開隆堂出版の教科書も大変素晴らしいと思いましたが、決め手となったのは、鑑賞ページが大きくて迫力があり、開いたときにはっとさせられる印象を受けましたので、ぜひこのような感動を生徒にも味わってほしいと思いました。レイアウトも見やすいと思います。

それから、表現の工夫という欄は、苦手意識を持つ生徒にとってはイメージするための一助となるのではないかと思います、有益ではないかと思いました。

大木委員 私は、開隆堂出版を推薦したいと思います。理由といたしましては、実例も豊富で非常に生徒の作品も多い点は、紹介されている作品に迫力があり感じる心を非常に大切にしているように思いました。学習のポイントが記載されているので、目的が明確である点です。

光村図書出版と非常に迷いましたが、他教科とのつながりとして、教科書下部に明示されておりますのが、開隆堂出版では数学、国語、社会、道徳など幅広くございましたが、光村図書出版では道徳とのつながりという道徳の点しか書いておりませんでした。おそらく内容としては、ほかの教科ともつながりはあるのだろうとは思いましたが、道徳とのつながりというところしか書いていなかったことが若干引っかかりまして、迷いに迷った結果、開隆堂出版を推薦したいと思います。

富山教育長職務代理者 私は光村出版図書の「美術」を推薦いたします。理由としましては他の委員の皆様と重なりますので省きますが、1点だけ申し上げます。先ほどの音楽と同じですが、表紙をめくったときに、見開きのページに「うつくしい！」と題した詩が1年生用と2・3年生用の2巻ともにございまして、それを受けて1年生用では今生きている中学生の視点から見た美しさとはという学びにつながっております。美術の真髄というのでしょうか、そこに語りかけて豊かにしていく力を引き出していく、一人ひとりの子どもの可能性を引き出していくという構成の教科書に魅力を感じました。

それでは、光村図書出版が3人、開隆堂出版が1人ということでございますので、美術は光村図書出版を採択したいと考えますが、大木委員、よろしいでしょうか。

大木委員 結構です。

富山教育長職務代理者 それでは、美術は2番の光村図書出版の「美術」を採択することに決定いたしました。

(12) 保健体育

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 2番の大日本図書、3番の大修館書店が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の東京書籍、4番の学研教育みらいが「国分寺市で使用するのに適当である」としました。ただし、保健体育に関しましては、どの教科書も良さと課題があり、総じて大きな差はないと考えています。

東京書籍は、教科横断的な指導のしやすさや小学校から高等学校までの学びのプロセスが明示されていること、主体的な学習につながる学習過程などの良さがあります。一方、

グループ学習に関しては手だてが少ないとの課題も挙げられていました。

大日本図書は、良さとして、話し合い活動の充実や1単位時間の学習の流れがつかみやすい、知識の整理がしやすいことなどがあります。課題としては、情報量の多さによる負担や話し合い活動の例示の少なさが挙げられていました。

大修館書店は、教科横断的な指導のしやすさや観点別評価のしやすさなどの良さがあります。課題としては体育分野との関連の不足があります。

学研教育みらいは、いじめやストレスに関する内容の充実や学びのプロセスのわかりやすさなどの良さがあります。課題としては、実生活に生かすための例示が少ないことなどがあります。

(意見・質疑の要旨)

富山教育長職務代理者 先ほどそれぞれの教科書は大変良くできていて差がないと御説明いただきましたが、差がないというのは、非常に適当であるとされた大日本図書と大修館書店の範囲で言っているのか、東京書籍や学研教育みらいも含めた4社がそれほど差がないという意味でしょうか。

選定資料作成委員会委員長 4社とも差がない、良い教科書であると捉えています。

辻委員 私は学研教育みらいの「中学保健体育」を推薦いたします。他社に比べてややイラストが多く、少しごちゃごちゃしている印象は持ちましたが、その分情報量が多く、生徒の関心、生徒に伝えたいことが多く含まれていると感じました。

具体的な例を挙げますと、性とどう向き合うかの単元について同性愛や無性愛についての記述が本文の注にあるので、授業の中で取り上げてもらいやすいと思います。それから、性意識には個人差や多様な考えがあることを本文で触れていて、相手を尊重する態度につながるができると思いました。また、DVについての記載があることも注目すべきだと思います。DVは配偶者間だけではなく、いわゆるデートDVと呼ばれる被害が中高生の間で現実起きています。したがって、中学生のうちに授業でぜひとも取り上げていただきたいと思っています。

また、飲酒と健康の単元に、アルハラは人権侵害ですというコラムがありました。こちらも健康の問題だけではなく、健康の問題はひいては人権問題につながるという視点を与えるという意味で評価できると思います。さらに、20歳未満の飲酒の害について詳しく説明されていて、これは中学生のうちにぜひとも知っておいていただきたいことだと思いました。

大木委員 私も学研教育みらいを推薦いたします。理由といたしましては、まず1単位時間の流れが明確で使いやすいということ。2点目として、学習方法の例示も大変良く、個人の学習を深めると同時に共同作業も行いやすいであろうと考えられたところ。3点目が、章のまとめの箇所、まず振り返ろうで3段階で自己チェックをし、次に確かめようで知識を確認し、最後に生かそうで記述をする、あるいは探求しようでより深い学習もできるというような、多様な学びの方法が示されているということです。

また、生活への活用で日々の生活への応用を自ら考えることができる、学校の学びの場を日常生活に生かすという視点が重視されていると思いました。

さらに、欄外の情報サプリーでプラスアルファの情報を得る、あるいは探求では調べ学習を提案している点も評価しました。例えば、ストレスの記述におきましては、対処法の記述あるいは実習も充実しておりまして、ストレス社会に生きる生徒たちがセルフコント

ルールを学んでいく，自らの対処法を考えるという点でも非常に適切であると考えました。以上の理由から，学研教育みらいを推薦いたします。

佐久間委員 私も学研教育みらいの教科書を推薦いたします。学研教育みらいの保健体育の教科書は，学習する保健体育の内容を自分事として受けとめられるような文章表現，資料，問題提起を意識してつくられていると思います。

体育編につきましては，スポーツには多様なものがあり，多様な楽しみ方や喜びを知ることが生活や人生を豊かにしていくという視点を強く意識させる教科書であると感じます。まずは，目次の横のメッセージからそのことが伝わってきます。続く，口絵1，スポーツで世界を1つにのページから，スポーツには様々な形，様々な側面があること，勝敗を超えたところに魅力があることを印象づけられます。口絵2，スポーツ，健康，安全の分野で活躍する人たちのページで，スポーツ，健康，安全を支えることを仕事にしている方々を紹介し，いろいろな関わり方があることをつかむことができます。本文中の文章についても，誰でも生涯にわたってスポーツを楽しむことができるということを当事者として受けとめることができる表現になっています。

保健編につきましては，健康について，あるいは体調を崩した場合のことについて，気を配り，考えていくことが大切であること，心身の発達，性との向き合い方などについても，中学生に寄り添った内容になっていると感じました。特に，口絵3に，いつでも話せる相手がありますという表題で，相談先を大きく扱っているページや，ストレスの対処，リラクゼーションの方法など，心身の健康を保つ部分も充実しているということも大変良い点であると思います。

子どもたちには，これからの長い人生，かけがえのない命を守り，大切な人たちと健康な生活を行ってほしいと願っています。このような理由から学研教育みらいの教科書を推薦したいと思います。

富山教育長職務代理者 私も学研教育みらいの「中学校保健体育」を推薦いたします。重なりますが，あえて申し上げますと，いじめ，不登校という課題に今でも取り組んでいます。そして，現在，コロナ禍の中で子どもたちはかなりのストレスを重ねて持っています。許容なき社会の中で子どもたちの心の豊かな成長を願うときに，単なる文章でリラックスしましょうというのではなくて，心のSOSの中でしっかりと実習や演習をして，体験的にリラックスすることを自分たちであるいは自分で獲得していくという，臨床心理学的な手法を取り入れた優れた教科書であると思います。

それでは，学研教育みらいが4人でございますので，保健体育は4番の学研教育みらい「中学保健体育」を採択することに決定いたしました。

(13) 技術・家庭（技術分野）

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 1番の東京書籍，3番の開隆堂出版が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」，2番の教育図書が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

東京書籍は，問題解決的な学習のプロセスがわかりやすいこと，親しみやすく，わかりやすい紙面構成などの良さがあります。課題としては，文章量の多さが挙げられました。

教育図書は，良さとして，イラストや写真で見やすく構成していることや別冊にして作業しやすくしていることがあります。課題としては，イラストなどが多い分，文章から想

像して考える場面が減ってしまうことが挙げられました。

開隆堂出版は、技術の歴史の提示や見方・考え方を働かせること、課題解決の漫画等、学習の内容と取り組みやすさを両立しています。課題としては、イラストのタッチが若干気になるという意見がありました。

(意見・質疑の要旨)

大木委員 私は東京書籍を推薦いたします。理由といたしましては、1点目は技術分野の学習方法あるいは問題解決のプロセスなどのガイダンスが充実しておりまして、技術分野の学習を始める上で非常にわかりやすいという点です。

2点目に、下のほうに技術の工夫という豆知識のコーナーがあり、生徒が興味を持つ工夫がなされているという点です。

3点目に、各編で1章、2章、3章と各セクションに目標が明記されていて、万遍なく構造的に学習できる、また、見通しが立つという点です。

4点目に、各編の最後に学習のまとめがあり、知識、技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力と、構成がわかりやすく、かつ身につけるべきことが明確であるという点です。

最後に、こちらの報告にも書いてございますが、各編の冒頭に技術の最適化というページがあるところで、まさに技術が実際にこのように役に立つということを、しかも最先端の内容で理解することができると思いました。以上から、総合して東京書籍を推薦いたします。

佐久間委員 私も東京書籍の教科書を推薦いたします。御報告いただきましたとおり、問題解決的で実践しやすい教科書であることが推薦の主な理由です。導入部分が優れていることにつきましては大木委員からもお話がありましたが、私も同じ感想を持ちました。おのおのの学習ページにつきましても、それぞれの項目、学習の内容について順序立ててわかりやすく記載されていると思います。ページの上のところにキーワード、左側に注釈、下のところに技術の工夫と配置しているのも、紙面を効果的に使っており、大変見やすいと思います。

内容を見まして、例えば、第3編、エネルギー変換の技術、第1章の5、電気機器を安全に使用するための技術など、現実に即して理解できるような流れで書かれていると思いました。資料の中でも電気エネルギーを変換し機械を動かす事例として、見開きで新幹線を紹介しています。新幹線発祥の地、国分寺市の子どもたちには、より興味を持って深く学ぶことができるだろうと思います。以上の理由で、東京書籍の教科書を推薦いたします。

辻委員 私は、開隆堂出版を推薦いたします。各編の冒頭に内容に沿った技術の歴史が掲載されているのは良いと思いました。人類の歴史は技術の発展とともにあったこと、それに伴う課題がそれぞれの時代にあったことを思い起こさせてくれ、生徒たちの学びに良い効果があるのではないかと思います。また、開隆堂出版は各分野の冒頭の導入部分に、作業の安全について示されていて良いと思いました。

選定委員会の資料にあるとおり、ポイントを説明する人物のイラストがちょっと異質な感じはいたしますが、そのほかのレイアウトは他社と比べても全く遜色なく、むしろ見やすい紙面構成ではないかと感じましたので、開隆堂出版を推薦いたします。

富山教育長職務代理者 私は東京書籍を推薦いたします。非常に問題解決型の学習、自分でもやってみよう、やれたという部分が丁寧に書かれており、例えばジャガイモ栽培を

見ても、学びが循環していくことが丁寧に示されると思います。それから、技術科だけではなく全ての教科に通じますが、他の教科の知識や技能が総合的に生かされて自分のものになるところが子どもたちは弱いとされており。その部分を丁寧に、例えば教科書の下部に技術の工夫という小さなコラムがあり、いわゆる教科横断的な学びを示唆あるいは指導できる教科書になっているところが非常に大事なことで、光っているなどと思います。

それでは、東京書籍が3人、開隆堂出版が1人ということでございますので、技術・家庭（技術分野）は東京書籍を採択したいと考えますが、辻委員、よろしいでしょうか。

辻委員 結構です。

富山教育長職務代理者 それでは、技術・家庭（技術分野）は、1番の東京書籍「新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology」を採択することに決定いたしました。

（14）技術・家庭（家庭分野）

（選定資料作成委員会委員長からの説明）

選定資料作成委員会委員長 1番の東京書籍、3番の開隆堂出版が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、2番の教育図書が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

東京書籍は、文章や写真の量の適切さ、発達段階に合わせた活用、無理のない内容等の良さがあります。また、手順の記述が丁寧でわかりやすく構成されています。

教育図書は、資料の豊富さや紙面のわかりやすさ、親しみやすさなどの良さがある反面、説明文がやや多いという課題がありました。

開隆堂出版は、資料の多さやわかりやすさ、3年間の学びの見通しを持つこと、防災関係の充実が良さとしてあります。写真等の量が少ないことについては課題として意見がありました。

（意見・質疑の要旨）

佐久間委員 私は、東京書籍の教科書を推薦いたします。家庭科の学習におきましては、技術科もほかの教科も同様ですが、特に問題解決の視点は大切であろうと思います。それを考えますと、東京書籍は問題解決型の視点を持ちながら実践していくことに重点を置いているところに魅力を感じます。

教科書の導入部、家庭分野のガイダンスが技術分野と同様、充実しております。初めに、家庭分野の学習では、自分の生きる目標に向かって自分の生活をすすんでより良いものにしていく力をつけることを目指す、すなわち、知識、技能をもとに適切な意思決定ができる力を身につけ、実際に行動することで自分の生涯を通して生活をつくる力を培いますとあり、家庭科を学ぶ目標をはっきりと自覚することができます。次の見開きページで、乳幼児から高齢期までの連続した自分のイメージとともに、自立、共生を目指し、生活の問題に向き合っ課題を見つけ、解決する力を身につけていくことを意識することで、子どもたちが主体的に取り組む心構えを持つことができると考えます。

内容につきましても、先ほど御紹介いただきましたように、目標を定めて手順よく学んでいくことができ、実習などの手引きもわかりやすく書かれていると思います。268ページに生活の課題と実践の進め方というページがありまして、これはガイダンスの中では問題を解決する道筋として記載されています。まず課題を見つけ、計画し、実践し、振り返り、改善する、そして次の課題に挑戦する。家庭学習をこの流れで学んでいくことで

生活に生かしていく力を身につけていくことができる教科書であると思いますので、東京書籍の教科書を推薦いたします。

辻委員 私は、開隆堂出版を推薦いたします。家庭分野の大きなテーマである自立と共生の説明がわかりやすいと思いました。巻頭で自立を生活的自立、精神的自立、経済的自立と説明しており、その後、共生を他者との共生、自然との共生、地域社会との共生と説明しています。これらの説明に加えて、自立と共生が表裏一体であるとまとめていますが、このことはぜひ中学生に知ってもらいたいことだと思いました。

また、構成として、家族・家庭生活から始まり、続いて衣食住の生活、最後に消費生活、環境となっているのが良いと思いました。初めに家庭生活を取り上げ、その中で役割や意味などを考えた上で、その中で必要な衣食住の技術、意味を考えていこうという流れは自然だと思います。そして、最後に消費生活、環境として、一歩家庭から踏み出した社会とのつながりを考えていくという構成が筋道として非常に良いと思いました。

最後に、家族・家庭生活の中では、性別役割分担意識の問題点や男女共同参画社会について、また、多様な家族の形態があることについてしっかり取り上げているのが良いと思いました。しかも、教え込みではなく、生徒たちに考えてもらうような問いを与える形式になっており、この点を高く評価いたしました。

大木委員 私も開隆堂出版を推薦いたします。一番の大きな理由は辻委員が最後におっしゃったことと重複いたしますが、家族関係の多様性、離婚、再婚、里親など、あるいはLGBTや障害のある方との共存といった現代社会における多様なトピックが紹介されていて、生徒たちがより自らに近く考え、学びを深め、今後生きていく上でとても重要な内容をしっかりと紹介していただいていると思いました。また、実物大の写真もわかりやすく、調理実習の内容や手順、Q&Aもわかりやすいと思いました。

また、小さなことですが、右上にちょっとした写真が、あるいは下に豆知識があるというように、生徒の興味・関心を引くような構成になっているところも面白いと思いました。主体的・対話的で深い学びについては、それぞれ具体的に何をすれば良いかということが明確に示されている点も非常に高く評価いたしました。以上の点から、私は開隆堂出版を推薦いたします。

富山教育長職務代理者 私は東京書籍を推薦いたします。理由としては、重なりますが、2対2の同数になりましたので、理由を述べさせていただきたいと思います。教科書を学ぶのではなく、教科書で学ぶということがコンセプトになっていると思いますが、そのためには、この家庭分野の中でどう生きるのか、どう学ぶのかということの示が大変重要な要素になってくると思います。その点では、5ページを割いたガイダンスが非常に充実していて、生活の中からボトムアップしていった、問題を解決する道筋や、見方・考え方を解説してございます。その中で自分の生活をチェックしよう、自分と家庭との生活を見つめようとして、より自分たちの生活、家族の生活、みんなの生活という部分をボトムアップで問題を解決していこうとする構成が大変良いと思います。

併せて、常に家庭分野の中では生活に生かすということが、教科書を学ぶのではなくて教科書で学ぶということですので、生活に生かすという流れが非常にわかりやすくなっている点を買いたいと思い、私は東京書籍を推薦いたします。

それでは、開隆堂出版が2人、東京書籍が2人になっております。同数になった場合には、教育長職務代理者である私が決めるということが地方教育行政の組織及び運営に関する法律で規定されておりますので、ここで鬼のようになりまして、私が決めさせていただきます。

きたいと思います。

先ほど申し上げました開隆堂出版の新しい家族構成や新しい人権の見方という部分については、やはり東京書籍のほうが薄いという感じは持っておりますが、総合的に考えていきますと、そのような新しい問題を生活の中から見つけて、頭の中でというよりは実体験を通してそれを解決していくということで、そういう意味では東京書籍の中にもその問題は当然含まれてくると私は捉えます。

このような意味から、私は東京書籍に決定させていただきたいと思います。技術・家庭（家庭分野）は東京書籍を採択したいと考えますが、いかがでしょうか。

大木委員 決定に関しましては全く異議ございません。私も最後まで東京書籍とどちらにするか大変迷いましたので、それに関しては全く異議ございません。先ほど申しましたように、特に家族関係の多様性やLGBTに関しましては、教科書にこのような家族関係が当たり前とはもちろん書いてはいないのですが、それがスタンダードなものという書き方をされていますと多少傷ついてしまうお子さんもいらっしゃるのではないかとことを大変懸念いたしております。指導の際にはそういった点も、もちろん十分配慮されているとは思いますが、一層御配慮いただいた上で御指導いただければと思います。教科書に関しましては、東京書籍の採択で全く異議ございません。

辻委員 大木委員と同意見です。

富山教育長職務代理者 ありがとうございます。このことは家庭分野だけでなく、社会科でも全教科でも言えることです。教育課程を編成、実施、評価していくその根幹に据えておかなければならないというのは、憲法や学習指導要領の本旨でございます。そのことにつきましては、この決定の先にある、学校での様々な子どもたちへの対応について生かしていけたらと、生かしていかなければいけないということも併せて確認したいと思えます。

それでは、御異議ございませんでしょうか。

大木委員・辻委員 結構です。

富山教育長職務代理者 それでは、技術・家庭（家庭分野）は1番の東京書籍「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」を採択することに決定いたしました。

（15）外国語（英語）

（選定資料作成委員会委員長からの説明）

選定資料作成委員会委員長 3番の三省堂、5番の光村図書出版、6番の新興出版社啓林館が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の東京書籍、2番の開隆堂出版、4番の教育出版が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

東京書籍は、良さとして生徒の興味を引く題材が豊富であることや、見やすさ、自分の立場で考える内容があること等があります。課題としては、教科書のサイズやキャラクター、日本語の説明が多いことが挙げられました。

開隆堂出版は、題材の魅力や単元の流れのわかりやすさ、小学校の外国語科との接続などの良さがあります。課題としては、登場人物の多さや学習事項の提示の不明確さが挙げられました。

三省堂は、多文化、多分野について内容の広がりやバランスが良いこと、習得のしやすさの工夫、多読ができることなどの良さがあります。反面、内容が難しいことや、見づらさを感じるページがあることが課題として挙げられました。

教育出版は、5領域別の学びのリストや振り返りがしやすいこと、アクティビティの使い勝手の良さなど、良い点があります。課題としては、内容の難しさ、親しみにくさ、イラストと英文のバランス等が挙げられました。

光村図書出版は、3年間を通してストーリーが繋がっているのも、生徒が興味を持って読むことができます。英文量が多いことも学びの充実につながると考えます。SDGsへも注力しています。課題としては、英語が苦手な生徒への配慮が必要になることが挙げられました。

新興出版社啓林館は、海外の文化や生活に触れる内容が豊富であること、わかりやすさや発展的な言語活動ができることなどの良さがあります。課題としては、他社と比較し教科書の内容だけでは不十分で、ワークシートなどを併用する必要があることなどが挙げられました。

(意見・質疑の要旨)

大木委員 2点お伺いいたします。1点目は、光村図書出版ではSDGsの全項目に関する題材を3年間で扱っているとのことですが、他社の教科書ではいかがだったでしょうか。

2点目は、英語の5技能、つまり、聞く、読む、話す(やり取り)、話す(発表)、書くにつままして各教科書の工夫はいかがだったでしょうか。

調査研究委員長(外国語) 1点目につまましては、SDGsの全項目に関する題材を扱っているのは光村図書出版だけであると捉えております。

2点目の5技能につまましては、どの会社においても力を入れており、特に差はないと思っております。

大木委員 そういたしますと、SDGsに関しましては光村図書出版では全部扱っており、他社でも扱ってはいるが全部ではないという理解でよろしいでしょうか。

調査研究委員長(外国語) はい、おっしゃるとおりです。

辻委員 私は三省堂を推薦いたします。理由といたしまして、まず、扱っている題材について、報告では生徒に親しみのない内容が多いとありましたが、むしろ授業で扱う教材である点を考えますと、ある程度重厚といえますか、深みのある教材で学んでもらいたいという思いがあります。社会問題や歴史的事象など、決して身近とは言えない話題もありますが、授業で先生の御指導のもと、クラスメートと学び合うという場で使用するには、そのようなものを取り上げることに価値があると思いました。他方で、巻末の付録のページには生徒が親しみを感じやすい題材や実用的な表現が載っていて、本文とのバランスがとれていると思いました。

また、GETのページとUSEのページが見開きページごとにわかれているのは、生徒が目的意識を持って学ぶのに適していると思えます。全体的に日本語の説明もバランスよく配置されております。紙面が全て英語だと圧迫感を感じる生徒も、もしかしたらいるかもしれませんが、苦手意識を持ちやすい生徒には敬遠されにくい、適切な日本語量だと思えました。さらに、文字サイズが小さいという点は若干気になった箇所もありましたが、部分的な問題であることと、中学生であればそれほど大きな懸念材料にはならないかと判断いたしました。

大木委員 選定資料作成委員会で非常に適当であるとされた3社のうち、三省堂と光村図書出版の間で非常に迷いました。結論としては、光村図書出版を推薦いたします。

理由といたしましては、まず、先ほどSDGsについてお伺いしましたが、多文化、多分野に関する題材が豊富で英語を学ぶ魅力を実感できるという点。2点目は、日常生活に関連した内容が多いため、生徒が自分に身近な内容として考えられるという点。3点目は、「Your Coach」で例えば会話を続けるコツなどのテクニックのポイントが書かれており、各自の能力を高めるヒントが記されているという点。4点目に、リスニングのポイント、日常生活場面での表現、英語らしく発音するためのポイントなど、先ほど申したものと同じように、コミュニケーションを円滑にするためのポイントも充実しているという点。5点目で、「CAN-DOリスト」で5技能の到達目標が明確に記載されていて自己評価できる点。最後に、3年間つながったストーリーという御報告もございましたが、この3年間で登場人物が1年、2年、3年と成長していきます。生徒も自らの成長に重ねて学習して、英語を身近に感じることができないかと考えた点もございます。以上の点で、私は光村図書出版を推薦いたしますが、両者とも非常に優れており、あえてどちらかといえどということでは光村図書出版を推薦させていただきます。

佐久間委員 私は、三省堂の教科書を推薦したいと思います。教科書の構成として、各単元において英語学習の流れが大変わかりやすくパターン化されているということで、英語技能の習得に集中して取り組むことができそうだと感じます。

内容について良いと思う点を少し挙げさせていただきます。扱う題材について、私も少し難しく、生徒には親しみのない内容ということで気にはなったのですが、先ほど辻委員がおっしゃっていましたが、私も内容を少し拝見しましたところ、場面設定や話題などが現実的なものが多いような気がしており、英語を活用する力が身についていくのではないかと、そのためには良いのではないかと判断いたしました。

1年生、2年生では日本の伝統文化について紹介しておりまして、3年生で世界に通じる日本の漫画、アニメ文化について題材にしているのも良いと思いました。読むページの日本語や写真、イラストなどが適切であり、文章に集中することができると思います。

GETのページの学習のポイントの例文や各単元終わりの文法のまとめにより、学んだことを整理して定着させることができると思います。また、巻末の付録も充実していると思います。特に、いろいろな単語という項目がありますが、分野別に和英で見ることができますので、身の回りのことについて、話したり書いたりすることに役立つのではないかと感じました。以上のような点に魅力を感じました。

子どもたちに実際に英語を活用する力を身につけてもらいたいということに重きを置き、その点を期待しまして三省堂の教科書を推薦したいと思います。

富山教育長職務代理者 私は、光村図書出版を推薦いたします。内容につきましては先ほど大木委員からありましたが、中でも英文を扱う量がほかの会社よりも少し多いと思いますが、国分寺市の子どもたちにとってはむしろこのほうが良いのではないかと考えるからです。

それでは、三省堂が2人、光村図書出版が2人になっております。個人としては光村図書出版を推薦いたしますが、議長として総合的な立場に立ちますと、やはり使い慣れた三省堂のほうが、先生方にとっても、子どもたちにとっても、使いやすいということも一方ではございます。教科書を急に変更して対応することを考えますと、個人としては光村図書出版ですが、全体の立場からしますと三省堂が賛成で良いのではないかと私は決断いたしました。

大木委員 私も先ほど光村図書出版を推薦させていただきましたが、とにかく昨日まで

ずっと迷っていたぐらいですので、三省堂でも十分お使いいただける、非常に素晴らしい教科書だと思っておりますので、議長の御判断で異議はございません。

富山教育長職務代理者 子どもたちの立場、調査研究を行った先生方の立場、それから多くの英語の先生方のことを考えますと、やはり今まで使い慣れたほうが先生方にとっては良いのかなという感じを持ちます。個人としては光村図書出版ですが、主席を預かる議長としましては三省堂で結構でございます。

それでは、外国語（英語）につきましては、三省堂を採択したいと考えますが、御異議ございませんでしょうか。

大木委員 はい。

富山教育長職務代理者 それでは、外国語（英語）につきましては、3番の三省堂「NEW CROWN」を採択することに決定いたしました。

(16) 特別の教科 道徳（道徳）

富山教育長職務代理者 特別の教科 道徳の採択に入りますが、野村指導主事は、道徳の編集に関わっておりますので退席をお願いします。

（選定資料作成委員会委員長からの説明）

選定資料作成委員会委員長 1番の東京書籍が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、2番の教育出版、3番の光村図書出版、4番の日本文教出版、5番の学研教育みらい、6番の廣済堂あかつきが「国分寺市で使用するのに適当である」、7番の日本教科書が「国分寺市で使用するのに適当に至らない」といたしました。

東京書籍は、題字の下の漫画で学びの見通しを持たせることや、学びのプロセス、SDGs やいじめなどの題材の適切さなどの良さがあります。効果的な学びの手引きや教師用のCDの内容も充実しています。

教育出版は、学びの定型化により授業を受けやすくなっています。B5サイズであることも扱いやすいです。授業を行いやすい教材もある反面、活用が難しい教材もあることが課題として挙げられました。

光村図書出版は、複数の教材をつなげた授業やアクティブ・ラーニングにつながる工夫などがあります。課題としては、教材の文章が生徒にとって易し過ぎることが挙げられました。

日本文教出版は、道徳の学び方についてわかりやすく示した良さが挙げられました。また、道徳ノートが附属していることで授業のしやすさはある反面、道徳ノートが授業の幅を狭めてしまうという意見もありました。

学研教育みらいは、スポーツ選手や科学に関することなど、教材やイラストの魅力があることや、文章の量や構成に工夫があり読みやすいなどの良さがあります。挿絵が多いことで文章への集中が途切れることが課題として挙げられていました。

廣済堂あかつきは、名作教材を掲載する、道徳ノートを附属させるといった工夫があります。一方で、文章量が比較的多いので、読むことが苦手な生徒への配慮が必要だとの意見がありました。

日本教科書は、最近の話題を取り入れ現代的な課題に向き合うことができるといった良さがあります。一方、教材の内容が身近でない、文字が小さく文章量が多いなど課題が複数挙げられました。

(意見・質疑の要旨)

佐久間委員 選定資料作成委員会の報告書で、光村図書出版の黒丸のついた4点につきまして、選定資料作成委員会委員長から1点、易し過ぎるという部分について御紹介いただきましたが、4点の問題について少し気になりましたので、各学校の調査書を拝見してみました。そうしますと、1項目につき1校ずつそのような評価があり、そのうちの3項目は同じ学校が挙げておられました。同じように各学校の調査書を見てみますと、非常に適当であると御推薦をいただいている東京書籍にも、4点のうち3点同じような御意見を出されている学校がありました。中でも4番目、扱っている教材の文章量が比較的少ないということについては、東京書籍では話合いの時間がとれて良いというようなことでございます。

良いということと、少し足りないということは表裏一体という面もあるのだろうなどと想像しながら思っておりますが、御報告の中に挙がっていないことを伺って恐縮なのですが、受けとめ方という点で、東京書籍、光村図書出版のどちらにもそのようにお感じになる先生がいらっしゃるかと理解してよろしいでしょうか。

調査研究委員長(特別の教科 道徳) おっしゃるとおりで、会議では様々な意見が挙がりました。その中で、調整していく中で、ここを載せていこう、ここは納得ができるというところでこのような結果になっております。御指摘のとおり、ちょっと相反するようなものがありますが、トータルとして東京書籍にこの評価がついております。

大木委員 道徳という授業でございますので、様々な御意見もあるだろうと思っております。私の選定の理由といたしましては、当然のことではございますし、先生方もそのように御配慮されていると思っておりますが、授業だからといって特定の観点、価値観を生徒に押しつける、あるいは誘導するというのではなく、生徒がおのの個性を大切に、尊重するという意識を育んだ上で、さらに視野を広げ、多様な観点から各自の価値観を構成し、自他ともに大切にするという、生きていく力を育む上で有効な教科書であるということを考えました。結論といたしまして、私は東京書籍を推薦いたします。

理由といたしましては、こちらの御報告資料にあるものとかかなり重複いたしますが、1年間で学ぶことが観点別に色分けされていて非常にわかりやすい点。2点目は、取り上げている文章の内容が幅広いので、自らの視野を広げる上で有効な題材であろうと考えた点。3点目は学びの振り返りシート、心情円など生徒が自らの考えあるいは学び、感じ、深めるための工夫がなされているという点。4点目は、アクションでロールプレイングの方法が書いてあり、生徒が実際にロールプレイングを行う上で参考になるだろうと感じた点。5点目が課題に対する考えが、課題に対するものだけでなく自身を省みて深く考える構成、自分を見つめようとなっている点。以上の点を評価いたしまして、東京書籍を推薦いたします。

佐久間委員 私は、光村図書出版の教科書を推薦したいと思います。光村図書出版の道徳の教科書は、読み手の心を動かし、本音で自分や他者、命の問題に向き合うことを題材にした作品や問いかけが豊富であると感じます。選定資料の中の一番目でも紹介されていますように、中学生を題材にしたものが多いので、生徒が自分の身になって考えることができるという点も優れた特徴であると思っております。

現在、国分寺市立の中学校では、光村図書出版の教科書を使用して道徳の授業が行われています。各学校の調査報告を拝見いたしますと、生徒が親しみを持てる教材が多い、身近なテーマが多く、自分の課題として取り組むことができるなど、こちらの報告書には

載っていない良い点がたくさんあるという印象を持っております。

以前、市立学校に通う中学生に道徳の授業の感想を聞く機会がありました。子どもたちはどこの出版者の教科書を使っているかは、あまり意識されていないと思いますが、教科書には、はらはらする話が多いし、みんなからいろいろな意見がたくさん出て、特に男子からもすごくたくさん意見が出て、とても楽しいと話してくれました。作品を読んで心が動いた子どもたちが自由に発言して、みんなで考える雰囲気を先生方がつくっておられるということをお大変感謝しているところです。

一方で、子どもたちからたくさん出されたいろいろな意見をもとに授業を行うということとは御苦労も多いのであろうと想像しております。道徳の授業をどのように考えるかということにもつながりますが、限られた時間の中で、子どもたちを期待される姿に導くことよりも、人間の弱さ、醜さに自分のこととして向き合って、どうしたらよいのかと考えることや、すぐには解決できないことについても考え続ける態度を養う。そのようなことをクラスで共有することで、それぞれの人生を優しく、たくましく、困難に負けずに生き抜く力を養う時間に、道徳の時間をしてもらえたら良いのではないかと私は考えております。光村図書出版の道徳の教科書は、そのように育っていく子どもたちを応援する教科書であると思いますので、推薦させていただきます。

辻委員 私は、東京書籍を推薦いたします。言うまでもないことですが、道徳は知識の習得や新しい事柄の理解という側面はなく、生徒自身が考えを深めるということが何より大切であると思います。そうすると、教材もおのずと教材そのものをじっくり読解するという性質のものではありませんので、何よりも生徒が親しみやすい題材が一番よろしいのではないかと思います。この点から教材を見ますと、東京書籍で取り上げられているものは、視点としては世界に広がるようなものもありますが、身近なところから話題が始まっているものが多いと思い、良いと思いました。また、親しみやすく考えるきっかけづくりとして、動機づけにするという点では、文章だけではなく漫画やイラストなどがあることも効果的だと思いますが、その漫画やイラストなども適度な量で配置されていると思いました。また、子どもの権利条約の紹介のコーナーがあるのも良いと思います。

最後に、別冊で道徳ノートがついている教科書も幾つかありますが、最初はこれがあるほうが指導上便利なのではないかとも思いましたが、この御報告にもあるように、かえって展開の幅を狭めてしまう可能性も考えられること、評価方法が固定化してしまっているのではないかという懸念も持ったことから、あえてないほうを選ぼうという結論に至りました。これは、以前、道徳地区公開講座に参加したときに、実際に道徳の授業をなさっている現場の先生から、評価についてはワークシートなどに頼らない工夫を様々しているとお話を伺ったことがありました。別冊がついていたら使いたくなってしまい、それを使うのがスタンダードみたいになってしまう懸念があるのではないかと思いますので、いろいろな評価方法の工夫を実際に担当なさる先生方にしていただく余地を残すという意味で、あえて別冊のついていないものを推薦するという結論になりました。

富山教育長職務代理者 私も東京書籍を推薦いたします。道徳が教科書になって一番恐れるのは、教え込みあるいは価値を押しつけてしまうことです。もちろん先生方は押しつけるという気持ちはないのですが、結論として子どもたちが価値を押しつけられてしまう、理論に走ってしまうとなっては元も子もありません。各教科書では、そうならないためのいろいろなアプローチの仕方がありまして、それぞれよく工夫されて甲乙つけ難い教科書であると思います、本当に喜んでおります。その中で、特に東京書籍のいじめや命の問題につ

いては、1時間の道徳的価値に関する学習の前に、イントロダクションの学習をさせて、道徳的価値に関する学習につなげていくという構成になっています。それを道徳の中だけではなくて、横断的、総合的にやがては他の教科とも結びついていくと思いますが、その前段としての総合単元的な道徳学習を取り入れられたカリキュラム構成を入れてあるということは、他の教科書にはない一つの特徴ではないかと思ひまして、それを買わせていただきました。あとは、皆さんがおっしゃるとおりです。

それでは、光村図書出版が1人、東京書籍が3人ということでございますので、道徳は東京書籍を採択したいと考えますが、佐久間委員、よろしいでしょうか。

佐久間委員 結構です。

富山教育長職務代理者 それでは、特別の教科 道徳（道徳）は、1番の東京書籍「新訂 新しい道徳」を採択することに決定いたしました。

野村指導主事は、入室をお願いします。

統括指導主事 ただいま、道徳の教科書について、現行の光村図書出版から東京書籍へ変更することを決めていただきましたので、採択替えに伴う今後の各学年の教科書について確認をいただけますでしょうか。

富山教育長職務代理者 特別の教科 道徳につきましては、採択替えにより、今年度と異なる発行者の教科書を使用することとなりました。この場合、教育委員会という採択権者の判断によりまして、第1学年については採択変更後の発行者の新版教科書を使用し、第2、第3学年については採択変更前、これは光村図書出版になりますが、発行者の新版教科書を使用することも可能になってございます。つまり、新しい教科書を全ての学年で使うか、2年生、3年生については採択変更前のものを使うかということが課題になってきますが、調査研究委員長に御意見を伺いたいと思ひます。

調査研究委員長（特別の教科 道徳） 特別の教科 道徳においては、教科用図書の発行者が変更になることにより、教科用図書に配列された教材の内容項目について、3年間の見通しが異なることが考えられます。ただし、どの学年でも全ての内容項目の授業がなされること、東京都の教材集等を活用することで学校独自の新たな3年間の学習計画を立てることも可能となるため、あえて現行のものを継続する必要はないと考えております。

富山教育長職務代理者 それでは、特別の教科 道徳におきましては、今回、東京書籍が採択されましたので、令和3年度からは全学年について、新たに採択したこの教科書を使用することとなりますが、御異議ございませんでしょうか。

全委員 異議なし。

富山教育長職務代理者 それでは、異議なしということでございますので、令和3年度からの道徳の教科書につきましては、全学年がこの新しい東京書籍の道徳の教科書を使用するということに決定いたしました。

(休憩 午後0時55分～午後1時)

富山教育長職務代理者 令和3年度使用中学校教科用図書の採択につきまして、確認をさせていただきます。

- | | | |
|-----------|-----|------------------|
| 国語（国語） | ・・・ | 光村図書出版「国語」 |
| 国語（書写） | ・・・ | 光村図書出版「中学書写」 |
| 社会（地理的分野） | ・・・ | 帝国書院「社会科 中学生の地理」 |

世界の姿と日本の国土」

社会（歴史的分野）	・・・	東京書籍「新しい社会 歴史」
社会（公民的分野）	・・・	東京書籍「新しい社会 公民」
社会（地図）	・・・	帝国書院「中学校社会科地図」
数学	・・・	東京書籍「新しい数学」
理科	・・・	大日本図書「理科の世界」
音楽（一般）	・・・	教育芸術社「中学生の音楽」
音楽（器楽合奏）	・・・	教育芸術社「中学生の器楽」
美術	・・・	光村図書出版「美術」
保健体育	・・・	学研教育みらい「中学保健体育」
技術・家庭（技術分野）	・・・	東京書籍「新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」
技術・家庭（家庭分野）	・・・	東京書籍「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」
外国語（英語）	・・・	三省堂「NEW CROWN」
特別の教科 道徳（道徳） （採決）	・・・	東京書籍「新訂 新しい道徳」

以上のとおり可決（全員一致）

2 議案第52号 令和3年度使用特別支援学級教科用図書（一般図書）の採択について ＜教育長職務代理者提出＞

（議案の内容と説明）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条第6号に基づき、教育委員会で決定する必要がある。

野村指導主事 市立学校における教科書の採択は、義務教育諸学校の教科用図書の無償に関する法律及び関連法規に則して行われます。次年度使用教科用図書の採択要項には、現在使用中の小・中学校特別支援学級用教科用図書のうち、一般図書（特別支援学校・学級用）については、特に支障があり、これより明らかに優れたものがある場合においては、採択替えを行うことができるとあります。

各校においては、5月15日から6月26日までの間、来年度の一般図書等について調査研究を実施し、7月2日までに調査研究報告書を提出していただきました。7月18日に開催した教科用図書選定資料作成委員会では、その報告書をもとに各校からの説明を行いました。

この後、選定資料作成委員会からの報告をさせていただきます。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

富山教育長職務代理者 それでは、選定資料作成委員会委員長より説明をお願いします。
選定資料作成委員会委員長 知的障害特別支援学級が設置されている第二小学校、第四小学校、第七小学校、第二中学校、第三中学校では、令和3年度に使用する一般図書等の採択資料を作成しましたので御報告いたします。

各設置小・中学校とも、児童・生徒の障害の種類、程度、能力、特性に最もふさわしい内容のものを踏まえて選定資料をまとめました。また、可能な限り系統的に編集されており、教科の目標に沿う内容を持つ図書であることや、上の学年で使用する教科

用図書との関連性も考慮しています。この結果がお手元の報告書に示されています。

なお、各学校の報告書の備考欄に丸印をつけていますが、これは令和3年度から新たに加えたものを示しています。また、この資料には一般図書以外に文部科学省検定済教科用図書を使用する場合はその旨を記載しています。

以上、各設置小・中学校で令和3年度に使用する教科用図書の採択資料については、全て適当であると判断しましたので、採択について御審議をお願いいたします。

(意見・質疑の要旨)

佐久間委員 第三中学校では大部分が新しい図書に替わっている印象を受けますが、どのようなことで替えられるのか、教えていただければと思います。

特別支援学級設置校長会長 選定に当たっては、やはり生徒の実態に即してということが一番大きな観点だと思います。その点で、現在、第三中学校に在籍の生徒については、そちらにお示ししました一般図書等が適切であると判断しまして、提案させていただいております。

大木委員 私も同じく第三中学校の採択資料について伺いたいのですが、今回「中高生のための国語」や「中高生のための数学」など、高校生の領域のものも入っているのかと思いました。内容としては基礎的な問題のほかに、社会に巣立っていくために欠かせない常識問題が多く含まれているということですが、学習する上でのレベルといいますか、高校生までが書いてありましたので気になりましたが、その点はいかがでしょう。

特別支援学級設置校長会長 その点につきましても、生徒の実態に合わせてということで選定しております。特に、中高生のためのというシリーズは、現在、第二中学校でも同じように使っていて、市との情報交換等の中で、三中でもぜひ使おうということで挙げさせていただきました。

大木委員 それでは確認ですが、中高生と高校生も入っておりますが、特にお使いになる上で問題はないと、それぞれのお子さんの状況に合わせて、おそらく全部でなく抜粋してということもあると思いますので、十分有効に御使用いただけるものと考えているということでしょうか。

特別支援学級設置校長会長 そのとおりです。

富山教育長職務代理者 先生方が様々な教材を使って、子どもの発達段階に合わせて教科書をお使いになられると思いますが、特に本日採択しました中学校のいわゆる検定本の特別支援学級における活用状況について教えてください。もちろん、その年によって在籍する子どもが違いますので、昨年と全く同じとは言えないとは思いますが。

特別支援学級設置校長会長 今までの例で申し上げますと、例えば三中の場合は、通常級の教員が実際に特別支援学級に行き指導するということもありました。そのときには、通常級の教員が検定教科書から抜粋したものを特別支援学級に適した形で使用するという形で実施しておりました。

富山教育長職務代理者 例えば今回採択した音楽の教科書は、ぱっと見開きで、表紙を開くと非常にインパクトのある世界が広がっていますよね。全部は使えなくても、ある部分は導入として、あるいは参考資料として使用するという、主たる教材ではないが重要な教材になるという部分はあるのでしょうか。

特別支援学級設置校長会長 それは、どの教科についてもあると思います。実際に、先ほどもお話しましたが、通常級の教員が指導するときには普段使っている教科書なども活

用していくことが多いですし、生徒の実態に合わせるが一番大切だと思いますが、可能な範囲で使っていくことが行われています。

富山教育長職務代理人 本当に子どもの発達段階に合わせて先生方が様々な教材を工夫して御指導なさっているということが伝わってまいります。

大木委員 第二中学校の採択資料のことで確認させていただきます。技術・家庭の欄のこぼと教材出版の教科書は「中高生のための生活・社会」と書いてありますが、私の前にある教科書には「中学生のための生活・社会」と書いてあります。現在使っているものは「中学生」ですが、新しく「中高生」となったのでしょうか。それとも、別のものなのでしょうか。二中の採択資料を拝見すると、今年度の教科書と特に変わっていないようなので確認です。私が先ほどお伺いしたのは、「中学生のための生活・社会」であればあまり心配しませんが、「中高生」とあったのでとても心配したのですが、いかがでしょうか。

統括指導主事 こちらにつきましては、令和3年度用の一般図書一覧が配布されておりまして、そちらに載っている題名で記載をさせていただいております。委員の皆様のお手元に置かせていただいたのは、これまで各学校に置かれているものですので、掲載の仕方がこれまでと異なっていることも考えられます。最終的にはこちらでもう一度、文言が正確に記載されているかということは、この後確認をさせていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

富山教育長職務代理人 確認のほどよろしく願いいたします。

(採決)

原案どおり可決 (全員一致)

〔その他〕

富山教育長職務代理人 本日の臨時会は、もう1時を回っておりまして、長時間にわたりまして、慎重に、そして真剣に審議をしていただきまして本当にありがとうございました。

それから、この臨時会に至るまで、伊藤先生を初め委員長の先生方、各教科の調査研究委員の皆様方、新型コロナウイルス感染症が心配されるという大変な中で、ここまでまとめ上げていて報告いただきましたことを本当にありがとうございます。心より感謝を申し上げます。

〔閉会〕

午後1時16分、教育長職務代理人は閉会を宣言した。

署名委員

2 番

大木 桃代

3 番

佐久間 博美

調製職員

日高 久善